

2013
OSAKA
INTERNATIONAL
CHALLENGE
BADMINTON CHAMPIONSHIPS

頂点をめざす。

強者集結。

OSAKA
INTERNATIONAL CHALLENGE
BADMINTON
CHAMPIONSHIPS

OSAKA インターナショナルチャレンジ バドミントン選手権大会

おいしさ、そして、いのちへ。
Eat Well, Live Well.
AJINOMOTO

スポーツ系アミノ酸
サプリメント売上

No.1

**amino
VITAL**®
アミノバイタル

※イメージ 2011年度SRIIに基づく

あなたにベストな「アミノ酸」を選ぼう!

カラダの基本 アミノ酸

私たちのカラダは
アミノ酸で成り立っています。

私たちのカラダはおよそ60%が水分で、その水分を除いた約半分がたんぱく質、つまりアミノ酸でできています。たんぱく質は、皮ふや髪の毛、筋肉などを作るほか、血液中のヘモグロビン、脂質・糖類、その他酵素やホルモンなどのもととなる重要な成分です。



快適なスポーツには、 すばやいアミノ酸補給を。

スポーツ時。体内の糖質・脂質だけでエネルギーを補いきれない場合、筋肉などのたんぱく質からアミノ酸を分解してエネルギーとして使うようになります。そこで、「アミノバイタル」。約30分ですばやく吸収されるので、スポーツ時のアミノ酸補給に最適です。

たんぱく質
体内に吸収
されるまで
3~4時間。

アミノ酸
たんぱく質の
最小単位。

分解が不要なので
吸収が速い!

リカバー

味の素KKスポーツ
栄養科学研究から
生まれた製品です。



競技者用

徹底したトレーニングと激しい戦いをした
ロンドン五輪日本代表選手団を支えた
最先端のアミノ酸コンディショニング!

**アミノバイタル
ゴールド**

POINT

必須アミノ酸4000mg(ロイシン高配合
BCAAなど)が独自配合

勝負

最後までくずれない
カラダへ。



競技者用

スポーツ愛好者用

最後までくずれないカラダへ!
限界に挑戦するアスリートのアミノ酸補給。

**アミノバイタル
プロ**

POINT

アミノ酸3600mg(BCAA+グルタミン、
アルギニンなど)と、8種類のビタミンが配合

毎日 元気

毎日を元気にする
アミノ酸。



スポーツ愛好者用

日常健康維持用

スポーツを楽しむすべての人の
アミノ酸補給。

アミノバイタル

POINT

アミノ酸2200mg(BCAA+グルタミン、
アルギニン)と、8種類のビタミンが配合

ごあいさつ
MESSAGE: 02

大会展望
PREVIEW: 04

注目選手
CLOSE UP!: 06

期待の新星
NEW STARS!: 10

2012年大会レポート
PLAY BACK 2012: 14

歴代優勝・準優勝者
LIST OF WINNERS 2007-2012: 20

出場予定選手
LIST OF COMPETITORS: 22

オフィシャル
OFFICIALS: 24

OSAKA インターナショナルチャレンジ バドミントン選手権大会

会場：守口市民体育館（京阪電車
守口市駅前）

〒570-0038 大阪府守口市河原町9-2 TEL06-6992-8201

主催 (公財)日本バドミントン協会(N.B.A)
共催 世界バドミントン連盟(B.W.F)
主管 大阪府バドミントン協会
特別協賛 ヨネックス株式会社
後援 大阪府・大阪府教育委員会
(公財)大阪体育協会

4/3 (水)
予選
9:00開場
10:00試合開始

4/4 (木)
1・2回戦
9:00開場
10:00試合開始

4/5 (金)
2・3回戦
9:00開場
10:00試合開始

4/6 (土)
準決勝
10:00開場
11:00試合開始

4/7 (日)
決勝
10:00開場
11:00試合開始

MESSAGE

ごあいさつ【OSAKAインターナショナルチャレンジ2013に寄せて】



公益財団法人日本バドミントン協会会長

綿貫 民輔

Tamisuke Watanuki

President,
Nippon Badminton Association(N.B.A)

昨年に引き続き、世界バドミントン連盟(BWF)公認の大阪インターナショナルチャレンジ2013バドミントン選手権大会が大阪府守口市で開催できますことは本会関係者として、喜びに堪えません。

昨年7月に開催されましたロンドンオリンピックの女子ダブルスで、銀メダルを獲得したことで、バドミントン競技も大きく取り上げられました。

今年は海外10か国から多数の選手が参加し、3年後のリオデジャネイロオリンピックを目指す選手の熱戦が期待され、国内では見られない素晴らしい試合が展開されるものと期待いたします。

将来、世界を目指すジュニア選手及び観客のバドミントン愛好者には夢と希望と感動を与えることでしょう。

選手の皆様には日頃の練習の成果を十二分に発揮され、試合に勝つことは勿論ですが、各国の参加選手・役員の皆様との友好を深められることを期待致します。

終わりに、本大会開催に当たり、多大なるご支援、ご尽力を賜りました、BWF、BAC、大阪府の関係各位、協力企業関係各位の皆様にご感謝申し上げまして、ご挨拶と致します。

It is the greatest pleasure for us to be able to hold "the Osaka International Challenge 2013" following last year in Moriguchi City, Osaka prefecture, as Badminton World Federation (BWF) sanctioned event.

At the London Olympics badminton competition of women's doubles held in last July, we won the silver medal, and the media played up the badminton on a large scale.

In this year, many players from ten overseas countries, who look toward the next Olympics at Rio de Janeiro, will attend this Championship and show us exciting games. I expect they will display the excellent games more than the domestic tournaments.

They also impress junior players who get at world and badminton fans with the dream and hope.

I expect that the players win the match, demonstrate the full achievement of the daily trainings, and expand international friendship and relationship.

Finally, I would like to express my sincere appreciation for BWF, Badminton Asia Confederation (BAC), members of Osaka Badminton Association, and the supporting companies that have devoted themselves to make this tournament a success.



大阪府バドミントン協会 会長

三宅 祐司

Yuji Miyake

President,
Osaka Badminton Association

若葉の緑が目にも鮮やかなベストシーズンに世界各国から強豪選手を多数お迎えし、「大阪国際ショナルチャレンジ2013」を、大阪府守口市民体育館において開催できますことは、誠に喜ばしいことであり、皆様のご来日を心より歓迎いたします。

この大会は昨年に続き7回目の開催となり、国内では9月に開催される「ヨネックスオープンジャパン」とともに、世界ランキングポイントを獲得できる大会となっています。

昨年8月にロンドンオリンピックが終わり、今年は3年後の2016年にブラジル リオデジャネイロで開催されるオリンピックに向けて各国は若手選手を登用し、世界ランキングの上位を目指し出場してくるものと思われ、熾烈な戦いが繰り広げられ、最高の技術を競い、多くのバドミントン愛好者に夢と感動を与えてくれるものと確信しております。

この大会を通じて役員・選手の皆様が、国際親善と交流の輪を広げることを大いに期待し、選手の皆様には日頃の成果を十分に発揮され、熱戦を展開されることを期待しております。

本大会開催に多大なるご支援、ご尽力いただいた関係各位の皆様に感謝申し上げ歓迎の言葉といたします。

It is my great pleasure to welcome the top players from around the world to "the Osaka International Challenge 2013" at Moriguchi Civic Gymnasium in this good season of bright green with new leaves.

This is the seventh International match following last year. The players who participate in this Championship can earn BWF World Ranking points as well as "Yonex Open Japan" held in September in Japan.

The London Olympics was over in August last year. This year, all the countries will appoint young players in a contest for the head of World Ranking, in preparation for the next Olympics at Rio de Janeiro, Brazil in 2016. I believe that all the players will give full play to their abilities and perform the fierce competition. And that will give a great deal of dreams and excitement to us and all the badminton lovers.

I hope that the players and staffs will expand the international amity and circle of friendship through this Championship, and all the players will demonstrate enough their achievements of daily trainings and show us exciting games.

I would like to express my sincere appreciation to all the people involved for their efforts to open this Championship as a welcome tribute.

It is my great pleasure to witness the holding of the Osaka International Challenge Badminton 2013. On behalf of all the people of Osaka Prefecture, I would like to extend a warm welcome to the players from all over Japan and overseas.

I believe that holding the competition in Osaka, where athletes can earn world ranking points, and being able to observe top-level techniques and performances will allow us to enjoy the highlight and charms of badminton. I expect that this tournament will produce next generation leaders of the badminton world.

I hope that all the players will demonstrate the achievements of their hard training, work up a good sweat amid the cheers of families and friends, and deeply engrave the experience into their hearts. I also hope that this tournament will be a huge step and a great memorable one for all of you.

Taking this opportunity, please enjoy the charms of Osaka including the bustling streets and delicious cuisines. Inspired by the athletes' enthusiasm for badminton, I am committed to aim for the realization of a society where everyone, young and old, can casually enjoy sports.

「大阪国際ショナルチャレンジ2013バドミントン選手権大会」が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。海外並びに全国各地から参加されます選手・関係者の皆様、ようこそ大阪にお越しくださいました。大阪府民を代表して心から歓迎いたします。

世界ランキングポイントが獲得できる本大会が大阪で開催され、トップレベルの高い技術と爽やかなプレーが披露されますことは、多くの府民にバドミントンの醍醐味や魅力を伝えてくれることと思います。本大会からバドミントン界の次代を担う選手が輩出されることを期待しております。

出場される選手の皆さん、これまでの練習の成果を思う存分に発揮され、家族や友人の声援のもと、さわやかな汗を流し、素晴らしい体験をしっかりと胸に刻んでください。そして、本大会がみなさんにとって、大きな飛躍の機会となり、深く思い出に残る大会となることを願っております。

また、大阪にお越しいただいたこの機会に、食や街並みなど様々な大阪の魅力を是非堪能してください。

私も、皆さんの白熱した試合から力をいただき、誰もがスポーツの楽しさを実感できる大阪にするため、全力で取り組んでまいります。

結びに、本大会の開催に尽力された関係の皆様に対し深く敬意を表しますとともに、本大会のますますのご発展と、皆様のご活躍を心から祈念して、お祝いの言葉といたします。



大阪府知事

松井 一郎

Ichiro Matsui

Governor,
Osaka Prefecture



PREVIEW

大阪インターナショナルチャレンジ2013 大会展望

2007年にスタートしたこの大会も今年で7回目を迎えることとなった。

昨年同様にナショナルチームから何人かの選手が、同日程で開催される「オーストラリアオープン」にエントリーし、大阪にはリオデジャネイロオリンピックをめざすホープたちが集結する。

また、海外からはインドネシア、マレーシアなど若手を中心に多くのエントリーがあった。

一方、オリンピック出場を夢見る若い世代だけでなく、シングルス女王の今別府香里選手や、過去のこの大会でのチャンピオンや、世界ランク上位の松尾/内藤組がペアを替えてエントリーするなど、多くの実績あるトップ選手も出場する。

もう一つのポイントは「パナソニックバドミントンチーム」の休部に伴う選手の移籍だろう。

残念ながら今年3月末で休部となり、選手達はペアの解消、各チームへの移籍などを余儀なくされた。長年住み慣れた大阪の地で開催される今大会が、新たなチームでの最初の大会となる。地元のファンのためにも元気な姿を見せてほしいところだ。

国内外の若手の台頭と、壁となってそれを簡単には許さない中堅、ベテラン選手の激突、元チームメイト同士の戦い、世界に飛躍したい海外選手との対決など、多くの見所が満載の国際大会に相応しい大会となるだろう。

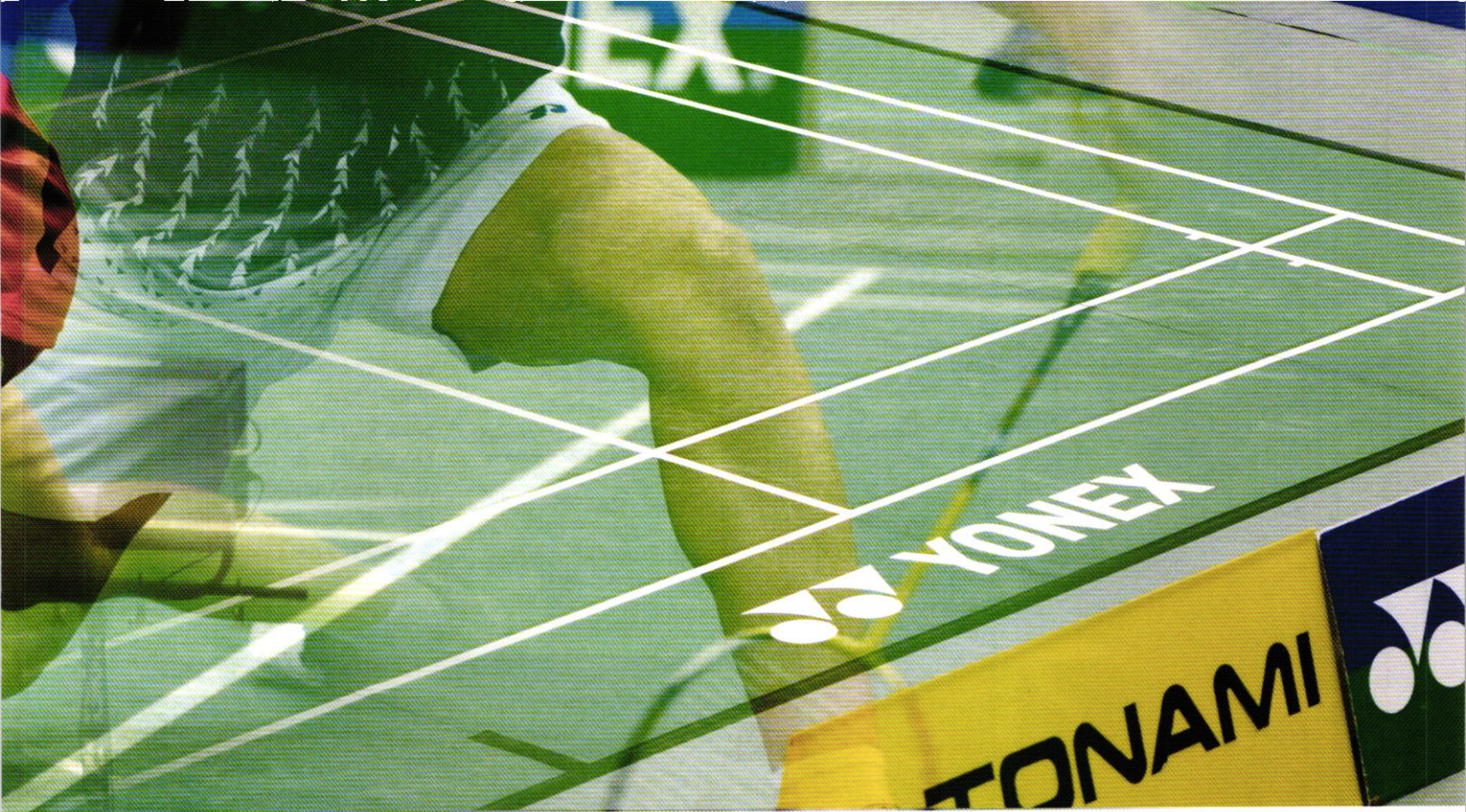
では、各種目の注目選手にスポットを当てて紹介しよう。

まずは男子シングルス。

ナショナルチームからエントリーした日本ランキング5位の**武下利一**（トナミ運輸）、ナショナルチームは外れたが全日本総合3位の**池田雄一**（日本ユニシス）、どの大会でも常に上位に食い込むベテラン**竹村純**（JR北海道）、全日本総合8強の**和田周**（NTT東日本）あたりを軸に展開されるか。

女子シングルの優勝候補は、やはり昨年末の全日本総合でチャンピオンに返り咲いた**今別府香里**（ヨネックス）だろう。まだこの大会での優勝はない。大阪のファンの前でその実力を証明したいところだ。一方、ベテランの域に達した第3回大会優勝の**後藤愛**（NTT東日本）や、昨年3位で全日本総合8強の**打田しづか**（日本ユニシス）も上位をうかがう。高校生でナショナルチーム入りし、リオ五輪有力候補の**大堀彩**（富岡高校2年）、**山口茜**（勝山高校1年）のプレーにも注目だ。

男子ダブルスは戦国時代の様相だ。2011年優勝の**黒瀬尊敏**（和歌山県協会）が、全日本総合8強の**銭谷翔**（トナミ運輸）とのペアで2度目の栄冠を狙う。一方、国際大会でも数多くの実績を持つ**数野健太**（日本ユニシス）はパートナーを**山田和司**（日本ユニシス）に替えて若手の挑戦を退けるか。ナショナルチームからエントリーの、社会人となった**井上拓斗**/**金子祐樹**組（日本ユニシス）、**松居圭一郎**/**三浦光将**（日本体育大学）の若さ溢れるプレーにも期待したい。



女子ダブルスは三木佑里子/米元小春がバナソニックから北都銀行に移籍。今まで2位、3位と今一步優勝に手の届かなかった2人が環境を変えて初優勝にたどり着くか。対抗馬はそれぞれ違うチームに移籍した元チームメイトの松尾静香が渡邊あかね(NTT東日本)と、土井杏奈(ヨネックス)とペアを組む内藤真実あたりか。さらには全日本総合で三木/米元組を下し、8強でナショナルチーム入りした樽野恵/新玉美郷組(NTT東日本)も攻撃力で上位進出を果たしそうだ。一方、脇田侑/江藤理恵組(岐阜トリッキーパーダース)は、派手さはないがひそかに連覇を狙う。いずれにしてもこの種目は世界トップレベルの激突が予想される。

混合ダブルスは、国内からナショナルジュニアを中心とした若手ペアがエントリー。固定されたペアが少なく、インドネシア、マレーシアなど外国人ペアが昨年に続きタイトルを獲得するか。若手にとっては思い切ったプレーで存在をアピールする大きなチャンスになるだろう。

BWF世界ランキング (3月21日現在)

男子シングルス

- 1 LEE Chong Wei マレーシア
- 2 CHEN Long 中国
- 3 DU Pengyu 中国
- 4 Sony Dwi KUNCORO インドネシア
- 5 HU Yun 香港
- 6 Jan O JORGENSEN デンマーク
- 7 CHEN Jin 中国
- 8 PARUPALLI Kashyap インド
- 9 Tien Minh NGUYEN ベトナム
- 10 田児賢一 NTT東日本
- 13 佐々木 翔 トナミ運輸
- 20 上田拓馬 日本ユニシス
- 48 坂井一将 日本ユニシス
- 51 桃田賢斗 富岡高校
- 79 武下利一 トナミ運輸

女子シングルス

- 1 Li Xuerui 中国
- 2 Saina NEHWAL インド
- 3 WANG Yihan 中国
- 4 Juliane SCHENK ドイツ
- 5 SUNG Ji Hyun 韓国
- 6 WANG Shixian 中国
- 7 Tine BAUN デンマーク
- 8 Ratchanok INTANON タイ
- 9 TAI Tzu Ying 台北
- 10 三谷美菜津 NTT東日本
- 13 廣瀬栄理子 ヨネックス
- 25 高橋沙也加 日本ユニシス
- 28 奥原希望 日本ユニシス
- 39 今別府香里 ヨネックス
- 42 後藤 愛 NTT東日本
- 48 佐藤芽香 ヨネックス
- 55 橋本由衣 NTT東日本
- 81 打田しづか 日本ユニシス
- 88 伊東可奈 ルネサス

男子ダブルス

- 1 Mathias BOE Carsten MOGENSEN デンマーク
- 2 Kien Keat KOO Boon Heong TAN マレーシア
- 3 KO Sung Hyun LEE Yong Dae 韓国
- 4 早川賢一 遠藤大由 日本ユニシス
- 5 KIM Ki Jung KIM Sa Rang 韓国
- 6 HONG Wei SHEN Ye 中国
- 7 Thien How HOON Wee Kiong TAN マレーシア
- 8 Bodin ISSARA Manepong JONGJIT タイ
- 9 LIU Xiaolong QIU Zihan 中国
- 10 CAI Yun FU Haifeng 中国
- 11 橋本博旦 平田典靖 トナミ運輸
- 32 川前直樹 佐藤翔治 NTT東日本
- 49 佐伯祐行 坪垣亮太 日本ユニシス
- 50 嘉村健士 園田啓悟 トナミ運輸
- 80 廣部好輝 数野健太 日本ユニシス

女子ダブルス

- 1 WANG Xiaoli YU Yang 中国
- 2 高橋礼華 松友美佐紀 日本ユニシス
- 3 Kamilla RYTTER JUHL Christinna PEDERSEN デンマーク
- 4 松尾静香 内藤真実 NTT東日本
- 5 TIAN Qing ZHAO Yunlei 中国
- 6 EOM Hye Won JANG Ye Na 韓国
- 7 JUNG Kyung Eun KIM Ha Na 韓国
- 8 BAO Yixin ZHONG Qianxin 中国
- 9 前田美順 末綱聡子 ルネサス
- 10 Duanganong AROONKESORN Kunchala VORAVICHITSAKUL タイ
- 21 藤井瑞希 垣岩令佳 ルネサス
- 43 三木佑里子 米元小春 北都銀行
- 64 脇田 侑 江藤理恵 岐阜トリッキーパーダース
- 72 榎万尚子 與猶くるみ ルネサス
- 78 福島由紀 宮内唯 日本ユニシス
- 95 前田美順 垣岩令佳 ルネサス

混合ダブルス

- 1 XU Chen MA Jin 中国
- 2 Tontowi AHMAD Lilyana NATSIR インドネシア
- 3 ZHANG Nan ZHAO Yunlei 中国
- 4 Joachim FISCHER NIELSEN Christinna PEDERSEN デンマーク
- 5 Peng Soon CHAN Liu Ying GOH マレーシア
- 6 Sudket PRAPAKAMOL Saralee THOUNGTHONGKAM タイ
- 7 Robert MATEUSIAK Nadiezda ZIEBA ポーランド
- 8 Muhammad RIJAL Debby SUSANTO インドネシア
- 9 Markis KIDO Pia Zebadiah BERNADETH インドネシア
- 10 Fran KURNIAWAN Sherry Puspa IFRAWATI インドネシア
- 15 早川賢一 松友美佐紀 日本ユニシス
- 22 池田信太郎 潮田玲子 日本ユニシス
- 36 佐藤翔治 松尾静香 NTT東日本
- 43 平田典靖 前田美順 トナミ運輸
- 59 嘉村健士 米元小春 トナミ運輸

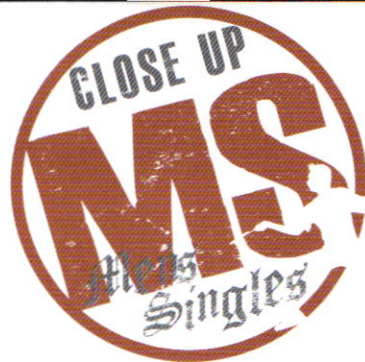
※最新ランキングは国際バドミントン連盟ページをご覧ください <http://www.bwfbadminton.org/page.aspx?id=14955>

TAKESHITA Kiichi

武下 利一

【たけした・りいち】
99年7月28日生(23歳) 176cm 68kg
右利き/トナミ運輸/佐賀県出身
成章中〜関東第一高〜敬和学園大
'08〜'10 インカレ 単3位
'10〜'11 ランキングサーキット 単優勝
'11 インカレ 単優勝
ニュージーランド国際 単優勝
'12 USオープン 単3位
全日本社会人 単3位
全日本総合 単8強

昨年トナミ運輸に入社した若手
成長株の一人。スマッシュを武器
に全日本総合8強でナショナル
チーム入りした。目立ため存在だ
が2度目の国際大会優勝を狙う。



池田 雄一

【いけだ・ゆういち】
84年6月7日生(28歳) 172cm 62kg
右利き/日本ユニシス/福岡県出身
岡垣中〜関東第一高
'05〜'07 全日本社会人 単優勝
'08 全日本総合 単3位
ブルガリア国際 単優勝
'10 ヘルシー国際 単優勝
USオープン 単3位
'12 全日本総合 単3位

過去には全日本社会人大会3連覇
するなど国内外で活躍。その後しば
らく低迷したが昨年終盤から本来の
動きを取り戻し、全日本総合では4年
ぶりに3位入賞を果たす。今大会で
はその勢いを継続しタイトル獲得で
存在をアピールしたい。



WADA Shu

今年から名門NTT東日本のメンバー
の一員となった。持前のスピードと鋭
いカットを武器に全日本総合で8強
入り。ナショナルチームメンバーから
は外れたが今大会をきっかけに浮上
したいところだ。



IKEDA Yuichi

和田 周

【わだ・しゅう】
90年2月13日生(22歳) 179cm 69kg
右利き/NTT東日本/埼玉県出身
埼玉栄中〜埼玉栄高〜日本体育大学
'08 インターハイ 単複優勝
'09 インカレ 単2位
'10 インカレ 単2位、複3位
'11 インカレ 単2位、複優勝
大阪国際 複2位
全日本総合 単8強
'12 インカレ 複3位
全日本総合 単8強

IMABEPPU Kaori

全日本総合で5年ぶりに優勝を果たす。豊富な運動量をベースに、特徴でもある危険なほどのラウンドからのショットが多彩。ヨネックスに移籍したが大阪のファンも多く、大阪国際初優勝を目指す。

今別府 香里

【いまべっぷ・かおり】
86年9月7日生(26歳)157cm 53kg
右利き/ヨネックス/奈良県出身
片塩中〜青森山田高〜(三洋電機)パナソニック
'07 全日本社会人 単優勝
全日本総合 単優勝
'09〜'10 日本ランキングサーキット 単優勝、
スウェーデン国際 単優勝
'10 全日本総合 単2位
'12 全日本総合 単優勝



強打こそないが、スピードと柔らかいレシーブ、それに丁寧な配球で相手を揺さぶる。全日本総合では09年に続き8強入りした。国際大会でもコンスタントに上位入賞するが、次はビッグタイトルがほしいところだ。

打田 しづか

【うちだ・しづか】
89年7月26日生(23歳)163cm
右利き/日本ユニシス/愛知県出身
大府中〜岡崎城西高
'08 オランダオープン 単3位
'09 全日本総合 単8強
'10 ロシアオープン 単3位
USオープン 単3位
ヨネックスOPジャパン 単8強
'11'12 大阪国際 単3位
'12 オーストラリア国際 単3位
USオープン 単2位
カナダオープン 単3位
全日本総合 単8強

UCHIDA Shizuka



CLOSE UP!

注目選手

黒瀬 尊敏& 銭谷 翔

【くろせ・たかし】

85年8月23日生(27歳)172cm 76kg
右利き/和歌山県協会/富山県出身
速星中〜高岡工芸高〜日本体育大学

'07 インカレ 複2位

'09 日本ランキングサーキット 複2位

'11 大阪国際 複優勝

全日本総合 複8強、混合複3位

'12 全日本総合 複8強

【ぜにや・しょう】

88年8月19日生(24歳)181cm 72kg
右利き/トナミ運輸/大阪府出身
四條寝学園中〜東大阪大柏原高〜中央大学

'09 インカレ 単8強

'10 インカレ 単3位、複8強

'11 大阪国際 単2位、複3位

全日本総合 複8強

'12 大阪国際 単3位

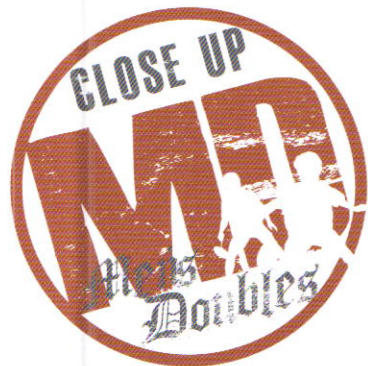
全日本総合 複8強

KUROSE Takatoshi Kiichi

ZENIYA Sho



全日本総合で2年連続8強入りしたこのペア。2011年に園田選手とのペアで優勝した黒瀬選手は今年から和歌山県協会に移籍。日頃一緒に練習できないハンディを乗り越え2度目の優勝を狙う。一方、シングルスで2011年2位、2012年3位と連続入賞の銭谷選手は単複優勝に挑む。



井上 拓斗& 金子 祐樹

【いのうえ・たくと】

95年2月26日生(18歳)162cm 54kg
右利き/日本ユニシス/佐賀県出身
玄海ジュニア〜埼玉栄中〜埼玉栄高

'11 インターハイ 複3位

全日本ジュニア 単優勝、複2位

世界ジュニア 複8強

'12 アジアユース 複8強

インターハイ 複優勝、単3位

世界ジュニア 複2位

全日本総合 複16強

【かねこ・ゆうき】

94年7月22日生(18歳)179cm 66kg
左利き/日本ユニシス/佐賀県出身
出羽バドミントンクラブ〜埼玉栄中〜埼玉栄高

'11 インターハイ 複3位、単8強

全日本ジュニア 単3位、複2位

世界ジュニア 複8強

'12 日本ランキングサーキット 単3位

アジアユース 単8強、複8強

シンガポール国際 単8強

インターハイ 複優勝

世界ジュニア 複2位

全日本総合 複16強

INOUE Takuto

KANEKO Yuki



インターハイを制し、2012世界ジュニアでも準優勝するなど、長年ペアを組むスピード感あふれるジュニア界のトップダブルス。高校卒で今年日本ユニシスに入社しナショナルチームにも選ばれた。井上が前に入り、金子が角度ある強打で攻める2人の形をつくり、社会人の大会でも上位に進出したいところだ。

三木 佑里子& 米元 小春

【みき・ゆりこ】

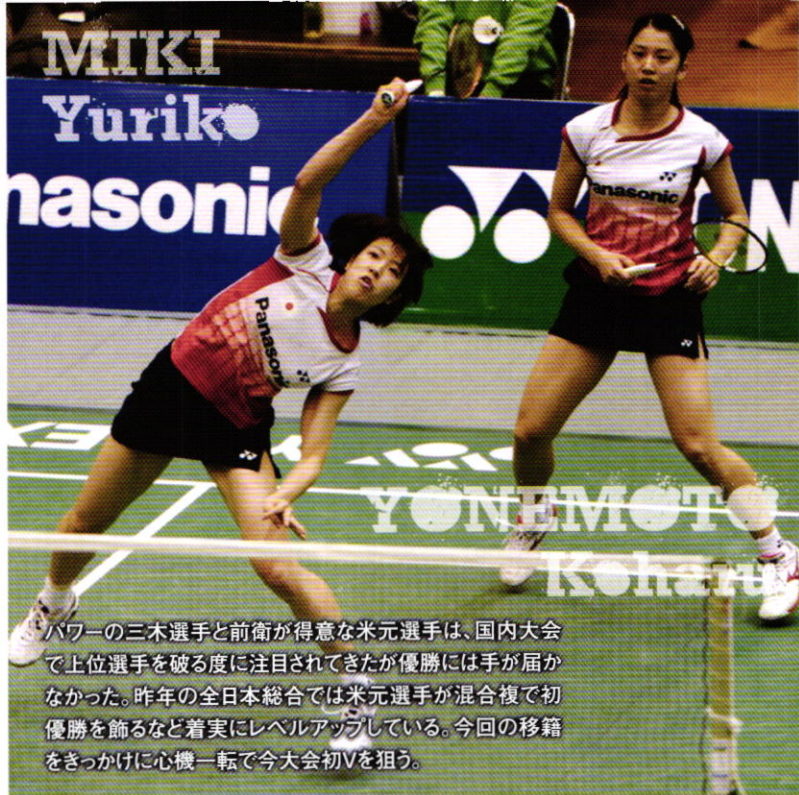
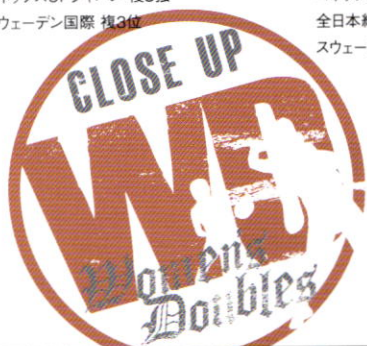
89年10月1日生(23歳)167cm 57kg
右利き/北都銀行/埼玉県出身
富士中〜越谷南高〜(三洋電機)パナソニック

- '10 ロシアオープン 複2位
全日本総合 複3位
- '11 オーストリア国際 複優勝
ニュージーランド国際 複優勝
大阪国際 複2位
日本ランキングサーキット 複優勝
マレーシア国際 複3位
- '12 大阪国際 複3位
カナダオープン 複2位
ヨネックスOPジャパン 複8強
スウェーデン国際 複3位

【よねもと・こはる】

90年12月7日生(22歳)167cm 57kg
右利き/北都銀行/広島県出身
翠町中〜青森山田高〜(三洋電機)パナソニック

- '10 ロシアオープン 複2位、混合3位
全日本総合 複3位
- '11 オーストリア国際 複優勝
ニュージーランド国際 複優勝
大阪国際 複2位、混合優勝
日本ランキングサーキット 複優勝
マレーシア国際 複3位
- '12 大阪国際 複3位、混合2位
カナダオープン 複2位、混合2位
ヨネックスOPジャパン 複8強、混合3位
全日本総合 混合優勝
スウェーデン国際 複3位



パワーの三木選手と前衛が得意な米元選手は、国内大会で上位選手を破る度に注目されてきたが優勝には手が届かなかった。昨年の全日本総合では米元選手が混合複で初優勝を飾るなど着実にレベルアップしている。今回の移籍をきっかけに心機一転で今大会初Vを狙う。

脇田 侑& 江藤 理恵

冷静にゲームメイクするベテラン脇田選手が、江藤選手のスマッシュを引き出す。クラブチームとして海外のINCに数多く出場し、コンスタントに成績を残してきた。昨年の大会では若手の挑戦を退け、初優勝を飾った。今年も激戦のWDで連覇を目指す。

【わきた・ゆう】

84年11月4日生(28歳)163cm
右利き/岐阜トリッキーバンダース/岐阜県出身
川島中〜県岐阜商高〜筑波大

- '08 オランダ国際 単優勝
- '09 マレーシア国際 複優勝
- '10 イラン国際 単3位、複優勝
オーストリア国際 複優勝
USオープン 複2位
ラオス国際 複優勝
- '11 ポーランド国際 複優勝
イラン国際 単2位、複優勝
- '12 大阪国際 複優勝
モルディブ国際 単複2位

【えとう・りえ】

88年2月26日生(25歳)162cm
右利き/岐阜トリッキーバンダース/大分県出身
三隅中〜熊本信愛女学院高〜東海学院大

- '10 イラン国際 単複優勝
オーストリア国際 複優勝
USオープン 複2位
ラオス国際 複優勝
- '11 ポーランド国際 複優勝
イラン国際 複優勝
- '12 大阪国際 複優勝
モルディブ国際 複2位



樽野 恵& 新玉 美郷

2008年単優勝の樽野選手が、そのテクニックとパワーを生かし、最近はダブルスで頭角を現してきた。パートナーは今大会中に誕生日を迎えるパワーヒッターの新玉選手だ。全日本総合では同年代の三木/米元組を接戦で破りナショナルチーム入りを果たした。

【たるの・めぐみ】

88年5月18日生(24歳)172cm
左利き/NTT東日本/福岡県出身
飛幡中〜金沢向陽高

- '07 全日本総合 単3位
- '08 大阪国際 単優勝
アジアサテライト 単2位、複優勝
全日本総合 単3位
- '10 日本ランキングサーキット 単2位
オーストラリアオープン 複3位
全日本社会人 単優勝
- '11 大阪国際 単2位
全日本総合 複8強
- '12 全日本総合 複8強

【あらたま・みさと】

91年4月6日生(22歳)166cm
右利き/NTT東日本/愛知県出身
名経大都市中〜名経大都市高

- '09 インターハイ 複2位
- '11 スウェーデン国際 複8強
日本ランキングサーキット 混合2位
全日本社会人 混合優勝
- '12 全日本社会人 複3位
全日本総合 複8強、混合8強



NEW STARS!

次世代を担う期待の新星



OOHORI
Aya

震災の影響で富岡から猪苗代に避難し練習環境も大きく変わったが、負けずにその素質を着実に開花させているリオデジャネイロ五輪を狙う期待の星。サウスポーから繰り出す鋭いカットで上位選手を苦しめるか。

大堀 彩

【おおほり・あや】
96年10月2日生(16歳)166cm
左利き/富岡高/福島県出身
富岡第1小〜富岡第一中
'07 全国小学生 単優勝
'08 全国小学生 単2位
'11 全日本ジュニア 単2位
全国中学生 単優勝
'12 大阪国際 単8強
全日本ジュニア 単優勝
世界ジュニア 単3位
インターハイ 単3位

小学生の時から各年代のタイトルを総なめしてきた。世界ジュニアでは奥原選手に敗れ2位に終わったものの、全日本総合では2回戦で優勝した今別府選手に1ゲームを奪いナショナルチーム入りした。小柄ながら同じフォームから繰り出すスマッシュとカットは特に注目だ。

山口 茜

【やまぐち・あかね】
97年6月6日生(15歳)155cm 55kg
右利き/勝山高/福井県出身
勝山南部ジュニア〜勝山南部中
'06〜'09 全国小学生 単優勝
全国小学生ABC 単優勝
'10 全日本ジュニア 単優勝
'11 全日本ジュニア 単3位
全日本総合 単32強
'12 全国中学校 単優勝
ヨネックスOPジャパン 複16強
世界ジュニア 単2位
全日本総合 単16強



YAMAGUCHI
Akane



北陸自動車道(親不知IC 付近)

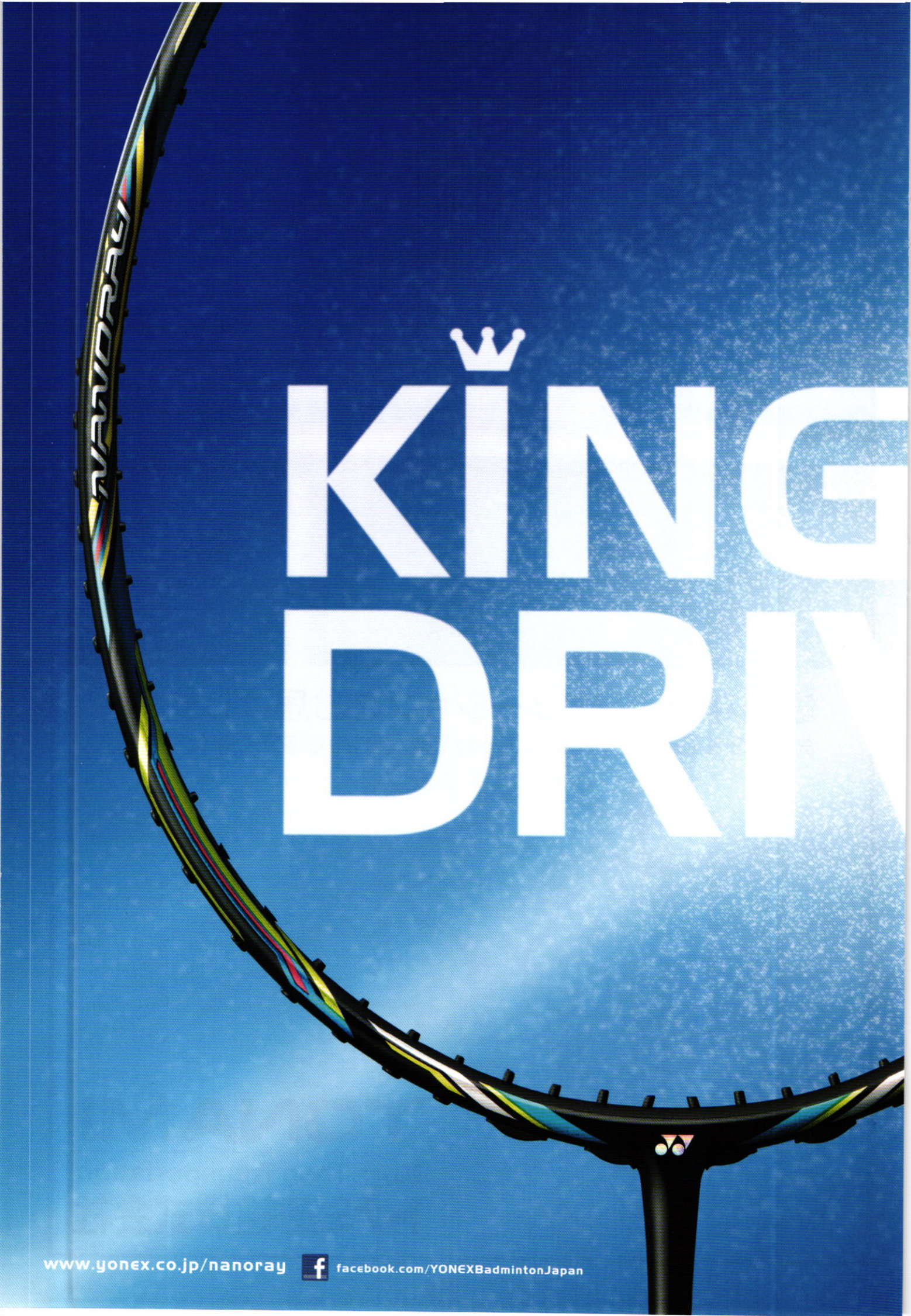
最適な物流ソリューションをお届けします。
先進の3PL(サードパーティーロジスティクス)で無駄のない経営の効率化を実現。



TONAMI

More Than Transportation

トナミ運輸株式会社

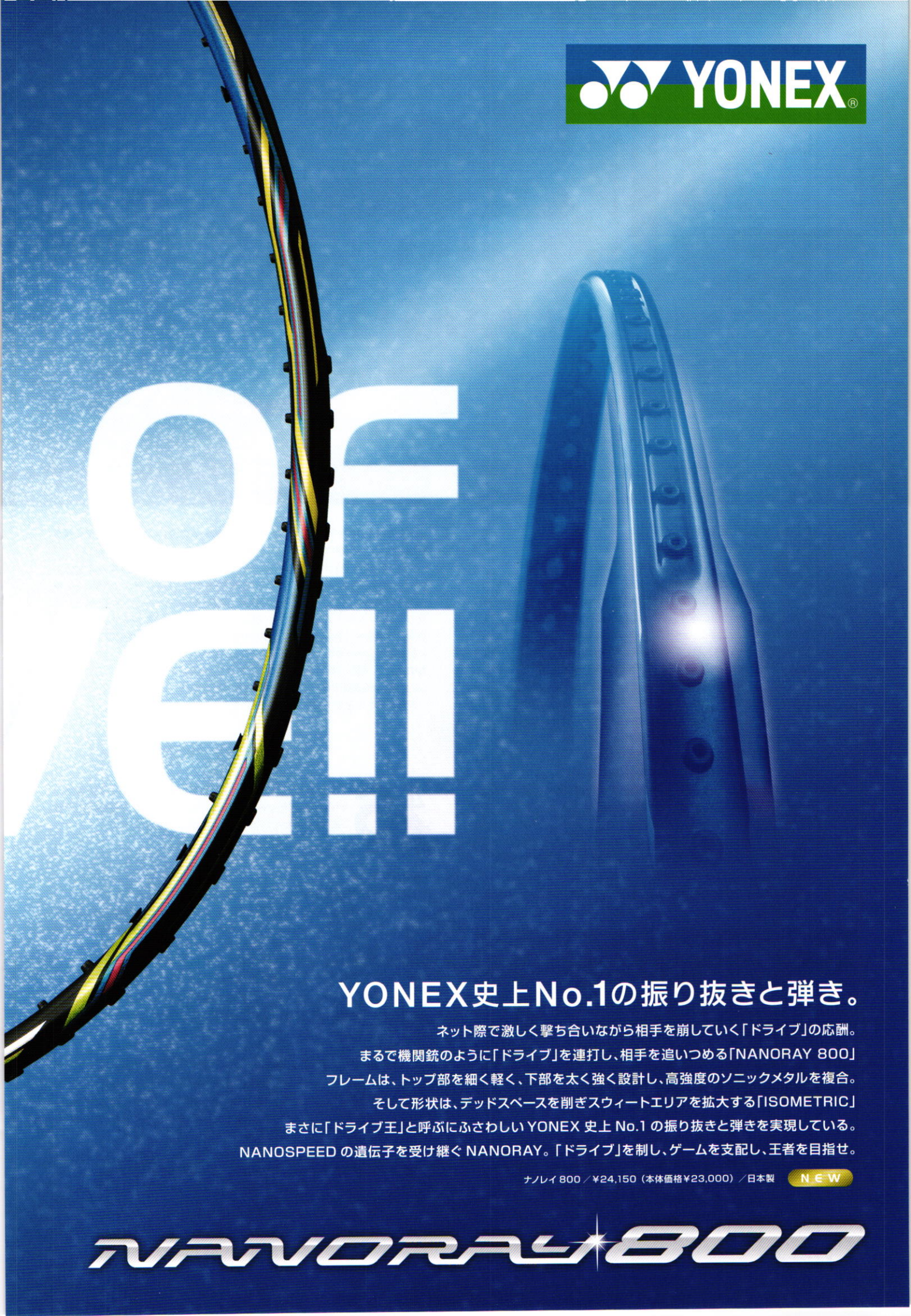


KING DRIVE

www.yonex.co.jp/nanoray



facebook.com/YONEXBadmintonJapan



OF
WE!!!

YONEX史上No.1の振り抜きと弾き。

ネット際で激しく打ち合いながら相手を崩していく「ドライブ」の応酬。

まるで機関銃のように「ドライブ」を連打し、相手を追いつめる「NANORAY 800」
フレームは、トップ部を細く軽く、下部を太く強く設計し、高強度のソニックメタルを複合。

そして形状は、デッドスペースを削ぎスウィートエリアを拡大する「ISOMETRIC」
まさに「ドライブ王」と呼ぶにふさわしいYONEX 史上 No.1 の振り抜きと弾きを実現している。
NANOSPEED の遺伝子を受け継ぐ NANORAY。「ドライブ」を制し、ゲームを支配し、王者を目指せ。

ナノレイ 800 / ¥24,150 (本体価格¥23,000) / 日本製

NEW

NANORAY 800



Osaka International Challenge Badminton Championships

2012年大会レポート

いよいよ2012年の大阪国際チャレンジが開幕します。
 今年はその名に相応しく13の国と地域から選手らが参加し、国際色豊かな大会となりました。
 オリンピックイヤーである今年、それは同時に4年後のリオデジャネイロ大会を見据えて、
 春、この大阪からスタートをするのだという、決意表明なのかもしれません。

4/5
 1・2回戦

本日より本戦がスタートしました。
【女子シングルス】
 いきなり、ビッグアップセットが起こりました。
山口茜 (勝山南部中3年)
2(21-15、17-21、21-17) 1 B・マヌプティ[1](インド)

中学3年生になったばかりの山口選手は、今大会の第1シードで世界ランキング74位(4月5日現在)のマヌプティ選手をファイナルゲームの末に破りました。

立ち上がりの第1ゲーム、悪天候の影響で前日の午後に入阪入りしたばかりのマヌプティ選手は、今ひとつ調子が上がらず、山口選手の攻勢を許し、15本で失います。しかし第2ゲームに入ると、本来の調子を取り戻したのか、主導権を握り、逆に山口選手は「流れが悪かった」(本人談)と言うように、マヌプティ選手が取り返しました。

そしてファイナルゲームです。序盤からマヌプティ選手のペースで試合が進みます。チェンジエンスでのポイントは山口選手の8-11でしたが、ここからマヌプティ選手がややペースアップして、12-17となりました。「今日はダメかなあって弱気になりました。でも、どうせ負けるのなら、守って負けるのはイヤだから、攻め切って終わろうって、気持ちを切り換えたんです」と、同時にマヌプティ選手のプレイが少し消極的になったように見えました。さらに観客席からも山口選手へ大きな声援が送られたと、一気に流れは変わってしまったのです。山口選手、ここから9連続ポイントを奪い、勝負を決めてしまいました。見ていても、この間の山口選手の集中力は素晴らしく、とても中学2年生とは思えない、「大人のプレイヤー」という印象でした。明日の2回戦は日本の峰歩美選手(ルネサス)と対戦です。どんなパフォーマンスを見せてくれるのか、楽しみです。

他にも外国人選手との対戦がありましたが、日本代表バックアップメンバーの全員が勝ち上がっています。



【男子シングルス】

桃田賢斗選手(富岡高3年) 2(21-16、21-16) 0 Chao Huang (SIN)
 *桃田選手の試合を見る度に思うのは、「クレーバーな選手だなあ」ということ。

ショットの緩急はもちろんなのですが、ラリー中やゲームの流れにおいても、随所に緩急をつけているように感じます。彼のプレイには「単調」という言葉は似合いません。

この日の相手、チャオ・ファン選手は、ラグビーのフォワードのような巨軀の持ち主。スマッシュの破壊力は、さぞや凄いのだろうと想像させました。しかし、そんな相手に対し桃田選手は冷静に対処しました。ファン選手の強打を巧みなレシーブで繋ぎ、チャンスと見るや心憎いショットで空いたコートへ柔らかくシャトルを落とします。そんな展開にファン選手は攻め急ぎ、持ち前の強打にミスショットが増えていきました。桃田選手は力任せに打つことはありません。しかしチャンスと見るや打ち込まれるショットは十分な切れ味がありました。相手の持ち味を完全に封じ込めて、桃田選手、完勝と言って良い試合でしょう。明らかな進化を見せてくれた桃田選手。明日以降の試合にも期待大です。

男子も日本人選手、外国人選手を相手に、しっかり結果を残しています。

4/6
 2・3回戦

大会3日目 2回戦&準々決勝各種目の2回戦と準々決勝が行われました。選手たちは一日2試合のスケジュール。複数種目を兼ねる選手たちにとっては、今日が最も厳しい日程となります。

【混合ダブルス】

嘉村健士(トナミ運輸)&米元小春(パナソニック) ベア
2(16-21、22-20、21-18) 1 Yu Hao&Liu Mengyi (CHN)

ディフェンディング王者ベアが苦しい試合を勝ち上がりました。1ゲームダウンで迎えた第2ゲーム。中盤以降は主導権を握られ、追いかける展開に。17-20とマッチポイントを握られてしまいます。しかしここから嘉村&米元ベアの真骨頂が発揮されました。3連続ポイントで延長に持ち込むと、更に2連続ポイントし、タイに持ち込みます。ファイナルゲームは最終盤までもつれます。15-17から4連続ポイントでマッチポイントを握った嘉村&米元ベア。詰めの誤ることなく、60分の試合に終止符を打ちました。

準々決勝

嘉村&米元ベア 2(13-21、24-22、26-24) 1 Liu Yi&Ting Thng (SIN)
 共にダブルスをこなし、しばしの休養の後、再びコートに立った嘉村&米元ベア。この試合でも苦しい立ち上がりとなります。1ゲームダウンを喫し、第2ゲーム。またも17-20とマッチポイントを握られてしまいます。ところがここでも嘉村&米元ベアは驚異的な粘りを発揮します。延長に持ち込み、今度は24-22で奪います。

ファイナルゲームもエキサイティングな内容となりました。18-20。絶体絶命のピンチです。しかし、嘉村&米元ベア、諦めません。ここでも延長に持ち込みました。シンガポールのベアは、この後、4度、勝利まであと1ポイントと迫りました。その都度、嘉村&

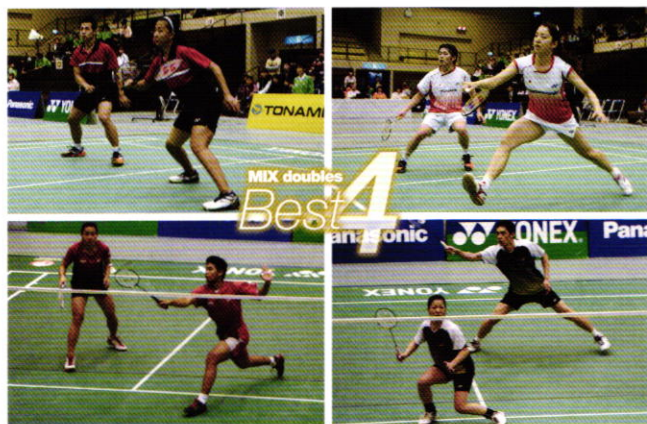
米元ペアが跳ね返します。24オールとなった時、Yi&Thngペアがとうとう根負けしてしまいます。最終スコアは26-24。55分間の熱闘が終わりました。

それにしても、このペアの粘りはどこから生まれてきたのでしょうか?この試合の後、もう1試合ずつを戦った嘉村選手、米元選手らに、コメントを残す余力は残っていませんでした。僅かに嘉村選手が、「今日はパートナーに助けられた1日でした」と。しかしミックスでは常に男子選手がフル回転しなければ勝ち目はありません。「ダブルスのスペシャリスト」。嘉村選手の才能の煌めきを見せつけられた1日でした。

堂本克樹&藤原由衣ペア(鳥取パナソニック)

2(29-27, 18-21, 22-20) 1 Zhao Jiang Yeo&Dellis Yuliana(SIN)

国内大会ではお馴染みの混合複ペア、堂本&藤原ペアが、第4シードのシンガポールのペアに競り勝ち、ベスト4入りです。練習時間は限られているそうですが、このペア、見る度に強くなっているように思います。より良いペアを作るには、やはり時間が必要だということなのでしょう。



【女子シングルス】

山口茜選手(岡山南中部3年) 1(21-13, 13-21, 18-21) 2 峰歩美選手(ルネサス)

予選、1回戦と会場を沸かした山口選手。第1ゲームを見たときには、「勢い、止まらず」とも思えたのですが、ここで敗れました。

奥原希望選手(大宮東高3年) 0(14-21, 18-21) 2 橋本由衣選手(NTT東日本)

奥原選手は明らかに緊張していました。第1ゲームの立ち上がり、0-7と予想外の展開となったのです。「練習では何度か試合をしたことがあります。でも負けた記憶はありません。自分の力をきちんと出せば大丈夫だと思います」前日、そんな話をしてくれたのが橋本選手。奥原選手とは対照的に、落ち着いた様子で試合を進めました。「トローが決まったときから、この試合に照準を合わせていました」第2ゲームは当然、奥原選手の反撃が想定されましたが、この試合での奥原選手はミスの連鎖が多く、加えて集中力にも課題が伺えました。昨年の全日本総合で史上最年少女王となった奥原選手は、この春、高校3年生になったばかりです。当然、完成された選手ではありません。もちろん大きな可能性を持った選手だと思いますが、同時に越えなければならない山は、まだ数多くありそうです。

橋本由衣選手 2(21-8, 21-16) 0 峰歩美選手

共に注目選手を破っての対戦となりましたが、橋本選手がベスト4入りを果たしました。

大堀彰選手(富岡高1年) 2(21-19, 21-14) 0 野尻野区世選手(日本ユニシス)

中高生組の中で、唯一人勝ち上がったのが大堀選手でした。第1ゲームの中盤までは完全に野尻野選手のペースでした。しかしブレイク後、大堀選手の9-12の場面から、野尻野選手が明らかにペースダウンしてしまいます。そのチャンスを、大堀選手、逃しません。18-13と一気に攻め込みました。野尻野選手、19オールまで挽回しますが、ここからの2ポイント、大堀選手は余裕を持って奪いました。

第2ゲームは14本。一方的な内容だったということです。

準々決勝 大堀彰選手 0(17-21, 13-21) 2 伊東可奈選手(ルネサス)

終わってみれば伊東選手の圧勝でした。大堀選手、2回戦に勝った後、ダブルスの試合を行い、予選から数えて3日間で7試合目。さすがにキツかったかもしれません。

2回戦 高橋沙也加選手(パナソニック) 2(21-18, 21-11) 0 Mi Jin Jung(KOR)

準々決勝 高橋沙也加選手 2(21-14, 21-11) 0 楠瀬由佳選手(北都銀行)

あくまでも個人的な感想です、お許し下さい。この大会に限って言えば、高橋選手のバドミントンは、他の選手より抜き出ていると思います。昨日の1回戦でもそうでしたが、競るのは中盤まで。以降、球筋を読んでしまうのか、そこから先は反撃を許さない、磐石な強さを見せてつけています。昨年の全日本社会人で優勝したものの、全日本総合では1回戦敗退と精彩を欠きました。しかし今年2月、オーストリア国際で優勝。このことが自信を取り戻すきっかけとなったようです。「去年は社会人大会に優勝したことで、総合



でも勝たなければいけないと、自分で勝手にプレッシャーをかけてしまい、1回戦負け。悔しい経験をしました。でもオーストリアで優勝して、勝ったとしてもそれは経験のひとつで、別にプレッシャーを感じる必要などないと思うようになったのです。技術的なことと言えば、フィジカル面が強くなったことで、以前は押し込まれたら返すのがやっとだったのですが、今は余裕を持って球に対処できるようになったことが大きいと思います」物言いにも充実感がにじみ出ている高橋選手。社会人2年目を迎え、随分、大人になりました。

準々決勝 打田しづか選手(日本ユニシス) 2(21-16, 21-10) 0 Desi Hera(INA)

今大会好調の打田選手。第2シードのHera選手に快勝しました。

【男子シングルス】

桃田賢斗選手(富岡高3年) 2(21-11, 14-21, 21-16) 1 Lee Dong Keun(KOR)

桃田選手、第1ゲームを順調に奪いましたが、第2ゲームではリズムに乗れず、ミスショットを連発。しかしファイナルゲームでは終始先手を取っての勝利です。

準々決勝 山田和司選手(日本ユニシス)

2(24-22, 15-21, 21-16) 1 古財和輝選手(トナミ運輸)

第1シード、山田選手、予想外の大苦戦でした。試合終了の瞬間、思わず苦笑いを浮かべた山田選手。「しばらく海外の大会で全然勝てなくて、ちょっと沈んでいたのです。久々の日本での大会なのでフレッシュして戦おうと思っています。でもこの試合は最低。今夜はコンディションを整え、明日の桃田君との試合に備えます。伸び盛りの選手ですからね、試合をするのが楽しみです」

桃田賢斗選手 2(14-21, 22-20, 21-17) 0 武下利一選手(トナミ運輸)

決着は思わぬ形でつきました。ファイナルゲーム。武下選手の足がつかず、もはや球を追いかける状態ではなくなってしまいました。とはいえ、そういう状況下まで追い詰めたのは明らかに桃田選手です。じっくり自分のペースに武下選手を引きずり込み、試合前から不安があったとはいえ、武下選手のコンディションにダメ出しをしました。「武下さんのスピードとかパワーを前面に出されたら、もっときつかったかもしれません。でもなんとか食らいついていけたことが良かった。(去年の震災以降)色んな事があって、色々な経験を、バドミントンに対するハングリーな思いが強くなったり、何より気持ちのスタミナがついたと思います」(桃田選手談)

銭谷翔選手(トナミ運輸) 2(21-14, 21-17) 0 園田啓悟選手(トナミ運輸)

昨年の決勝戦と同じ顔合わせとなりましたが、「番狂わせ」と言っているのでしょうか?所属チームが同じで、お互い手の内は分かり切っているのでしょうか。園田選手はミスが多かった。対する銭谷選手は、プレの少ないプレイをしました。

坂井一将選手(日本ユニシス) 2(21-7, 21-10) 0 和田周選手(日体大4年)

コートで躍動する坂井選手を久々に見たように思います。スピード、パワーで和田選手を圧倒しました。第2シードのプレッシャーを跳ね除けてのベスト4進出です。



【女子ダブルス】

福万尚子&與猶くるみペア (パナソニック)

2(18-21, 21-16, 21-18)1 Komala Dewi&Jenna Gozali (INA)

我慢強く球をつないで、福万&與猶ペア、逆転でベスト4進出を決めました。福万選手の闘争心溢れる顔が、この大会での充実度を象徴しています。與猶選手は少しアシリートっぽい体つきになってきました。プレイスピードが上がったと思います。

米元小春&三木祐里子ペア (パナソニック)

2(21-10, 21-19)0 Lee So Hee&Shin Seung Chan (KOR)

昨年は決勝で敗れ、準優勝だった米元&三木ペア。2011年世界ジュニア選手権で優勝した韓国ペアに付け入るスキを与えず、まずはベスト4入りを決めました。明日は福万&與猶ペアとの同チーム対決です。先輩ペアとしての実力差を見せつけるべきでしょう。

下崎彩&馬上愛美ペア (北都銀行)

2(21-15, 21-17)0 市丸美里&田中志穂ペア (法政大学2年)

2011年大会の女王ペア、市丸&田中ペアを、下崎&馬上ペアが破りました。市丸&田中ペアは2回戦で今別府靖代(ヨネックス)&小池温子(広島ガス)ペアを破り、試合巧者健在をアピールしたのですが、この試合ではレシーブが浮き気味で、下崎&馬上ペアの攻勢をまともに受けてしまったように見えました。何より、終始打ちまくった下崎&馬上ペアが素晴らしい試合をしました。

江藤理恵&脇田侑ペア (岐阜リッキーパワース)

2(21-17, 21-16)0 I.G.Ristiyani&N.T.Rosalia (INA)

第2シードペアを江藤&脇田ペアが破りました。危なげない一戦だったと思います。日本国内の大会では、もうひとつ結果を残せていない江藤&脇田ペア。今大会への秘する思いもあるのではと推測します。



【男子ダブルス】

廣部好輝&数野健太ペア (日本ユニシス)

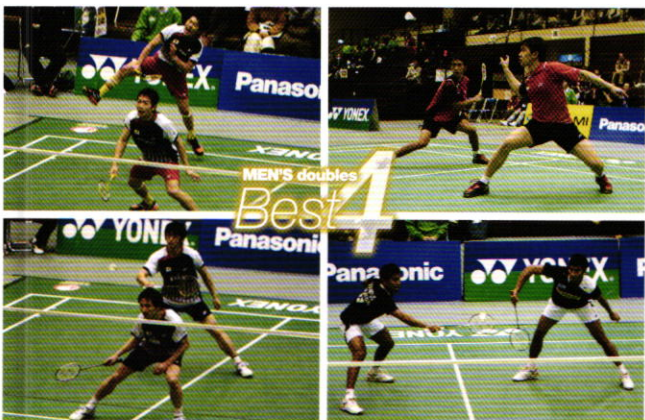
2(21-10, 21-13)0 Choi Young Woo&Sang Joon Lee (KOR)

第1シード、廣部&数野ペアの安定感は、さすがでした。

嘉村健士&園田啓悟ペア (トナミ運輸)

2(21-17, 19-21, 21-11)1 星野翔平&小林晃ペア (日体大3年)

シードペアの一角を崩した嘉村&園田ペアが共にハードスケジュールをこなしながら、4強入りを果たしました。準決勝では、この廣部&数野ペアと嘉村&園田ペアが対戦します。もう1試合は第2、第3シードペア、インドネシア対マレーシアとなりました。



6日(金)は計60試合が行われました。かなり慌しかったのですが、好ゲームが目白押しで、1日がアツといい間に過ぎていきました。7日(土)は各種目の準決勝10試合です。選手たちには疲労も蓄積していると思いますが、コートに立てば、きっと最高のパフォーマンスを見せてくれることでしょう。是非会場に来ていただき、ライブ感を堪能しながら、選手たちに熱い声援を送って欲しいと思います。



4/7
準決勝

大会4日目、各種目の準決勝が行われました。

【混合ダブルス】

嘉村健士(トナミ運輸)&米元小春(パナソニック)ペア

2(18-21, 21-17, 21-10)1 Fedhilah&Anggraini (INA)

第1ゲームこそ奪われたものの、その後は揺るぎない強さを見せて、昨年に続いて、嘉村&米元ペア、決勝進出を決めました。

堂本克樹&藤原由衣ペア (パナソニック鳥取)

0(13-21, 16-21)2 Riky&Puspita (INA)

健闘を見せていた堂本&藤原ペア。ここで力尽きました。若いインドネシアのペア。スピードとテクニックで日本のペアを上回りました。

【女子シングルス】

橋本由衣選手(NTT東日本) 2(21-11, 21-13)0 伊東可奈選手(ルネサス)

接戦が予想された一戦でしたが、思いがけず、一方的な試合となってしまいました。何より試合開始直後、橋本選手が得点を重ね、9-2でリードします。伊東選手は持ち味の攻撃的なバドミントンを試みようとしますが、残念ながら、数多くのミスショットを重ねてしまい、リズムを手放してしまいます。この序盤の点差によって、橋本選手、余裕を持って第1ゲームを奪いました。続く第2ゲーム、伊東選手が落ち着きを取り戻し、反撃開始かと思われましたが、それもインタルまで。その後は橋本選手が着実に加点し、最終スコアは13本失に抑え込みました。伊東選手の強打を冷静にレシーブしながらチャンスをうかがいましたが、伊東選手にミスも多く、それが点差に現れました。

高橋沙也加選手(パナソニック) 2(24-22, 20-22, 21-16)1 打田しづか選手(日本一汎)

ファイナルゲームまでもつれる試合となりました。しかし、その原因は、むしろ高橋選手自身にあったように思います。3ゲームとも、序盤の主導権を握っていたのは高橋選手でした。しかし中盤、攻め込みながらウィニングショットでミスを重ねる悪循環で、瞬く間に優位性を失ってしまったのです。それでもファイナルゲームでは落ち着いた打田選手の攻勢を封じた点は、高橋選手の成長の証と言えると思います。橋本選手と高橋選手、ここまでのキャリアを振り返れば、好対照な2選手です。そんな2人が大阪国際チャレンジの決勝戦で対峙する。私的には、なかなか感慨深いものがあります。2人とも好調を維持しながら勝ち上がってきました。次代を担うに相応しい、ハイレベルな試合を期待したいものです。

【男子シングルス】

山田和司選手(日本ユニシス) 2(21-17, 21-18)0 桃田賢斗選手(富岡高3年)

前日、「楽しみですよ」と語っていた山田選手。試合直後、「言ったとおりになったでしょ?」と目をつぶってみせました。ひと言で言ってしまうと、山田選手のスピードが桃田選手を圧倒した、ということです。持ち味の「速さ」で相手を圧倒する山田選手のプレイは、十分、魅力的です。一方、桃田選手にとっては悔しい試合となりました。それでも十分な成果と課題を見出した大会となったはずはです。

坂井一将選手(日本ユニシス) 2(21-19, 21-16)0 銭谷翔選手(トナミ運輸)

昨年の準決勝でも対戦した2人。今回は逆の結果となりました。坂井選手の勢いが銭谷選手を上回りました。時に緊張で動きが固くなってしまいう傾向がある坂井選手です。

が、準決勝では伸び伸びとコートを動き回りました。ジャンピングスマッシュの打点も高く、スピードも十分。相手コートに突き刺さりました。

【女子ダブルス】

福万尚子&與猶くるみペア (パナソニック)

2(21-19, 17-21, 21-19) 1 三木佑里子&米元小春ペア (パナソニック)

勝負ですから、敗れる時もあります。それでも、勝たなくてはいけない試合、負けてはいけない相手というのがあると思います。三木&米元ペアにとって、今日は正にそういう試合、相手でした。試合が始まって間もなく、或る試合を思い出していました。2010年の全日本総合、女子複準々決勝。三木&米元ペアは、前年の女王ペアでチームの先輩である松尾静香&内藤真実ペアに挑み、終始、気迫溢れるプレイで松尾&内藤ペアを圧倒。素晴らしい試合内容で完勝したのでした。

時が流れ、この日、三木&米元ペアが置かれた立場は、全く逆のものでした。若干の不安はあったものの、三木&米元ペアが後輩ペアの挑戦を、跳ね返してくれる光景を期待していたのです。しかし、福万&與猶ペアの気迫が素晴らしかったことと、その気迫を三木&米元ペアがまともに受けてしまったが故の試合結果だろうと思います。こうした試合の戦い方の難しさを痛感させられた一戦でした。それでも三木&米元ペアのポテンシャルの大ききからすれば、こういう試合での敗退はあまりにももったいない。決勝の舞台は、すぐそこにあったのですから。今日の試合のような悔しい経験を重ねよう、よりタフなペアになって欲しいと願います。

江藤理恵&脇田侑ペア (岐阜リッパ'ン'ズ)

2(21-9, 21-11) 0 下崎彩&馬上愛美ペア (北都銀行)

国際経験も豊富な江藤&脇田ペアが圧倒しました。世界ランキングのポイント積み重ねながら、国内大会になると、なかなか結果を残せていない江藤&脇田ペア。明日、このチャンスをしっかりモノにできるかどうか注目です。

【男子ダブルス】

Gideon&Agripinna 2(21-14, 24-22) 0 Mohd&Vountus (MAS)

第2ゲーム、マレーシアペアが取ってファイナル入りかという場面もありましたが、インドネシアペアが、それを許しませんでした。若い2人が、日本のペアとどう試合をしてくれるのか、楽しみです。

嘉村健士&園田啓悟ペア (トナミ運輸)

2(21-16, 22-20) 0 廣部好輝&数野健太ペア (日本ユニシス)

嘉村&園田ペアがスピードとテクニックに裏付けられたコンビネーションで、廣部&数野ペアの強打を封じ、決勝戦へ駒を進めました。

残るのは明日の決勝戦のみ。日本人選手、ペアの5種目制覇に期待がかかります。カギを握るのは、2つのダブルスで決勝進出を果たした嘉村選手ということになりました。試合数も多く、疲労もあると思いますが、有終の美を飾って欲しいものです。



では、各試合のレポートです。

【混合ダブルス】

Riky&Puspita (INA) 2(21-15, 21-19) 0

嘉村健士 (トナミ運輸) & 米元小春 (パナソニック) ペア

インドネシアペアが嬉しい国際大会初優勝を果たしました。男子選手のRikyの強打が嘉村&米元ペアを苦しめました。1回戦から絶体絶命の状況を跳ね除け、勝ち上がってきた嘉村&米元ペアですが、1ゲームダウンからの第2ゲームで、マッチポイントを握られてから懸命に粘ったのですが、決勝戦では、その再現はなりません。日本ペアの優勝がならず残念ではありましたが、混合複の面白さを満喫できた試合でした。男女、スピードもパワーも異なる選手がペアを組む混合複。それにより全く新たな魅力が生まれます。世界でも混合複のレベルは急上昇中。険しい道のりは、故にチャレンジするに値する種目だと思います。



【女子シングルス】

高橋沙也加選手 (パナソニック) 2(22-20, 21-19) 0 橋本由衣選手 (NTT東日本)

個人的な感慨を持って見つめた試合でした。2人の試合を最初に見たのは、2008年埼玉県所沢市で行われたインターハイでのこと。高橋選手は富山県高岡高校の1年生で、橋本選手は青森山田高の3年生でした。橋本選手は単複でベスト4入りし、高橋選手は単では3回戦敗退でしたが、複でベスト4に入りました。今でも記憶に残る試合がいくつかあるのですが、高橋選手の強打一辺倒に頼る荒削りな試合運びに驚愕し、一方で橋本選手の静かに燃える試合巧者ぶりが印象深かった。その後、高橋選手はインターハイ女王になるなど、陽の当たる道を歩んできました。一方の橋本選手は、時に迷いながらも、コツコツと歩みを進めてきたのです。昨年の全日本総合では初戦で対戦。勝ちにこだわり過ぎた高橋選手が力み、一方、そんな相手の様子を冷静に見極めた橋本選手が勝っています。

好対照とも言える道のり歩んできた2人が、3年半の月日を経て、国際大会の決勝戦で合間見えました。試合は決勝戦という舞台での経験値の差が出たとも言えます。

4/8
決勝

大会最終日 決勝

各種目の決勝戦が行われました。

尚、男子シングルス決勝は、山田和司選手 (日本ユニシス) の負傷棄権のため、坂井一将選手 (日本ユニシス) が優勝となりました。

坂井一将選手:「試合をして、勝って優勝を決めたかったのですが、仕方がないです。でも、優勝は嬉しい」

山田和司選手:「左足すねの脇の筋肉の肉離れです。昨日の試合中に傷めました。痛みがあったのですが、無理をしました。今朝、痛みもあつたし、患部に腫れが出てしまつて……。僕も試合を楽しみにしていたので、残念です。しっかり治して、また頑張ります」

ポイントでリードを奪いながら、その優位性を継続できなかった橋本選手。以前ならば、不利な状況に陥ると冷静さを欠き、自滅することも多かったのですが、今日は、というより、この大会を通じて、ガマンしながらチャンスを待つという場面が多く見られました。歓喜の瞬間は高橋選手に訪れ、橋本選手は悔しさを滲ませました。2人で話している間、表彰式、コーチとのミーティングの間は、どうにかこらえられていた涙が、ポロポロとこぼれ落ちました。おそらく人知れず流した悔し涙は数知れず。でも、決勝戦という試合に敗れて味わう悔しさは、今まで経験できなかったものだと思います。

勝利によって味わう喜びは何ものにも替え難い。準優勝は悔しい。けれど、表彰台の、頂点よりは一段低い所に立つ喜びと悔しさを味わうことで、間違いなく昨日までとは違う自分に会えるのです。それこそが新たな一歩を踏み出す原動力になることでしょう。



[女子ダブルス]

江藤理恵&脇田侑ペア(岐阜トリキバウ・ナグ-ス)

2(21-18, 21-12)0 福万尚子&呉猶くるみペア(パナソニック)

経験豊富な江藤&脇田ペアが、昨日、所属チームの先輩ペアを破った若手ペアの勢いを封じ込みました。福万&呉猶ペアは、準決勝の時のような闘争心溢れる様子が影を潜め、ややおとなしい戦いぶりとなりました。江藤&脇田ペアは日本国内での大会初制覇です。



[男子ダブルス]

嘉村健士&園田啓悟ペア(トナミ運輸)

2(21-17, 21-23, 21-18)1 Gideon&Agripinna (INA)

混合複決勝からおよそ3時間後、再び嘉村選手が、パートナーの園田選手とコートに立ちました。嘉村選手は計10試合目。園田選手はシングルスと合わせ7試合目。共にフル稼働をし、最後の舞台に立ったわけです。当然、疲れもあって、持ち前のコンビネーションやショットの精度には微妙な狂いが生じていました。しかし、そんな不利な部分を"気持ちで(園田選手談)"カバーし、頂点をつかみ取りました。インドネシアの若いペアの

健闘もあり、大阪国際チャレンジ2012年大会の秘盾を飾るに相応しい熱戦でした。



大阪国際チャレンジの全日程が終了しました。

国内外の若手、中堅選手が参加し、国際大会に相応しい様相の大会でした。日本人選手に目を向ければ、若手の台頭があった一方で、それを簡単には許さない中堅選手らが"壁"となって立ち上がった場面も見られました。その中堅選手らが次代のトップを担う候補選手であることも、十分、確認できた大会だったと思います。

間もなくロンドン五輪代表が確定しようとしています。その一方で、2016年リオデジャネイロ大会へ向けた戦いも静かに始まっているのです。その現状を垣間見えてきたのが、今年のお阪国際チャレンジでした。

(取材/文 ライター・佐藤純郎)





広島ガス

旨いごはん、ガスで知る。



カ
流でいこう。

ガスの強火で、ふっくらモチモチ。
自動炊飯機能のSiセンサーコンロ。



広島ガス株式会社 広島市南区皆実町2丁目7-1 TEL082-251-2151
<http://www.hiroshima-gas.co.jp/>

LIST OF WINNER

大阪インターナショナルチャレンジ 歴代優勝・準優勝者

2007.12

2007

MS men's singles			
1	SASAKI Sho	佐々木 翔	北都銀行
2	SATO Shoji	佐藤 翔治	NTT東日本

MD men's doubles			
1	HAN Sang Hoon	韓 相訓	韓国
	CHO Gun Woo	曹 建雨	
2	SAKAMOTO Shuichi	坂本 修一	日本ユニシス
	IKEDA Shintaro	池田 信太郎	

WS women's singles			
1	HIROSE Eriko	廣瀬 栄理子	三洋電機
2	YONEKURA Kanako	米倉 加奈子	ヨネックス

WD women's doubles			
1	MATSUDA Tomomi	松田 友美	ヨネックス
	AKAO Aki	赤尾 亜希	
2	OGURA Kumiko	小椋 久美子	三洋電機
	SHIOTA Reiko	潮田 玲子	

XD mixed doubles			
1	MASUDA Keita	舩田 圭太	トナミ運輸
	MAEDA Miyuki	前田 美順	NEC九州
2	CHO Gun Woo	曹 建雨	韓国
	HONG Soo Jung	洪 水晶	

2010

MS men's singles			
1	SASAKI Sho	佐々木 翔	トナミ運輸
2	YAMADA Kazushi	山田 和司	日本ユニシス

MD men's doubles			
1	HASHIMOTO Hirokatsu	橋本 博且	トナミ運輸
	HIRATA Noriyasu	平田 典靖	
2	ENDO Hiroyuki	遠藤 大由	日本ユニシス
	HIROBE Yoshiteru	廣部 好輝	

WS women's singles			
1	WANG Rong	王蓉	マカオ
2	IMABEPPU Kaori	今別府 香里	三洋電機

WD women's doubles			
1	FUJII Mizuki	藤井 瑞希	ルネサスSKY
	KAKIWA Reika	垣岩 令佳	
2	MATSUTOMO Misaki	松友 美佐紀	日本ユニシス
	TAKAHASHI Ayaka	高橋 礼華	

XD mixed doubles			
1	HAYAKAWA Kenichi	早川 賢一	日本ユニシス
	MATSUO Shizuka	松尾 静香	三洋電機
2	HASHIMOTO Hirokatsu	橋本 博且	トナミ運輸
	FUJII Mizuki	藤井 瑞希	ルネサスSKY

2008

MS men's singles			
1	SAEKI Koichi	佐伯 浩一	NTT東日本
2	SAENSOMBOONSUK Tanongsak	タノンサック・ サエンソボンボンスク	タイ

MD men's doubles			
1	KO Sung Hyun	高 成炫	韓国
	KWON Yi Goo	権 利九	
2	KAWAGUCHI Keisi	川口 馨士	NTT東日本
	KAWAMAE Naoki	川前 直樹	

WS women's singles			
1	TARUNO Megumi	樽野 恵	NTT東日本
2	SEKIYA Mayu	関谷 真由	早稲田大学

WD women's doubles			
1	OGURA Kumiko	小椋 久美子	三洋電機
	SHIOTA Reiko	潮田 玲子	
2	HA Jung Eun	河 貞恩	韓国
	KIM Min Jung	金 旼貞	

XD mixed doubles			
1	KWON Yi Goo	権 利九	韓国
	HA Jung Eun	河 貞恩	
2	HIRATA Noriyasu	平田 典靖	トナミ運輸
	MATSUO Shizuka	松尾 静香	三洋電機

2011

MS men's singles			
1	SONODA Keigo	園田 啓悟	トナミ運輸
2	ZENIYA Sho	銭谷 翔	トナミ運輸

MD men's doubles			
1	KUROSE Takatoshi	黒瀬 尊敏	トナミ運輸
	SONODA Keigo	園田 啓悟	
2	WADA Shu	和田 周	日本体育大学
	WATANABE Tatsuya	渡邊 達哉	

WS women's singles			
1	MITANI Minatsu	三谷 美菜津	NTT東日本
2	TARUNO Megumi	樽野 恵	NTT東日本

WD women's doubles			
1	ICHIMARU Miri	市丸 美里	法政大学
	TANAKA Shiho	田中 志穂	
2	MIKI Yuriko	三木 佑里子	パナソニック
	YONEMOTO Koharu	米元 小春	

XD mixed doubles			
1	KAMURA Takeshi	嘉村 健士	早稲田大学
	YONEMOTO Koharu	米元 小春	パナソニック
2	KAWAGUCHI Keisuke	川口 佳介	トナミ運輸
	OGURA Shinobu	小椋 しのぶ	三菱電機

2009

MS men's singles			
1	LEE Cheol Ho	李 喆鎬	韓国
2	SHON Wan Ho	孫 完虎	韓国

MD men's doubles			
1	HIROBE Yoshiteru	廣部 好輝	日本ユニシス
	KOMIYAMA Hajime	小宮山 元	
2	HASHIMOTO Hirokatsu	橋本 博且	トナミ運輸
	HIRATA Noriyasu	平田 典靖	

WS women's singles			
1	GOTO Ai	後藤 愛	NTT東日本
2	KIM Moon Hi	金 紋希	韓国

WD women's doubles			
1	MATSUTOMO Misaki	松友 美佐紀	日本ユニシス
	TAKAHASHI Ayaka	高橋 礼華	
2	MORI Kaori	森 かおり	三洋電機
	WAKISAKA Aya	脇坂 郁	

XD mixed doubles			
1	HSIEH Yu Hsin	謝 裕興	台北
	CHIEN Yu Chin	簡 毓瑾	
2	HIRATA Noriyasu	平田 典靖	トナミ運輸
	MATSUO Shizuka	松尾 静香	三洋電機

2012

MS men's singles			
1	SAKAI Kazumasa	坂井 一将	トナミ運輸
2	YAMADA Kazushi	山田 和司	日本ユニシス

MD men's doubles			
1	KAMURA Takeshi	嘉村 健士	トナミ運輸
	SONODA Keigo	園田 啓悟	
2	FERNALDI Gideon Markus	ギデオン・マルクス・ フェルナルディ	インドネシア
	PUTRA Agripinna Prima Rahmanto	アグリピナ・プリマ・ ラーマント・プトラ	

WS women's singles			
1	TAKAHASHI Sayaka	高橋 沙也加	パナソニック
2	HASHIMOTO Yui	橋本 由衣	NTT東日本

WD women's doubles			
1	WAKITA Yu	脇田 侑	トナミ運輸
	ETO Rie	江藤 理恵	
2	FUKUMAN Naoko	福万 尚子	パナソニック
	YONAO Kurumi	與猶 くるみ	

XD mixed doubles			
1	WIDIANTO Riky	リキー・ウディアント	インドネシア
	DILI Puspita Richi	プスピタ・リチ・ディリ	
2	KAMURA Takeshi	嘉村 健士	トナミ運輸
	YONEMOTO Koharu	米元 小春	パナソニック

女神は誰に 微笑むか。

目撃せよ。



J SPORTSでバドミントンを見よう! BWFスーパーシリーズほか、日本リーグも放送!

- スーパーシリーズプレミア2013.....全5大会(1・3・6・10・11月)
- 大阪インターナショナルチャレンジ2013.....4月
- 世界選手権2013.....8月
- YONEX OPEN JAPAN 2013.....9月
- 日本リーグ2013.....10月~12月

詳細は

J SPORTS

検索



@jsports_shuttle

ハッシュタグ #jspobadminton

J SPORTS BS放送視聴料 今なら新規加入で 月額2,400円 最大2ヶ月無料!

スカパー! 新規加入と同時に「J SPORTS 1+2+3+4」セット(月額2,400円)をご契約され、3ヶ月以上ご継続される個人契約の方が対象となります。スカパー!加入料(初回のみ2,940円)、スカパー!基本料(月額410円)が別途かかります。

受付期間 2013年5月31日まで (加入手続き完了分)

あなたのデジタルテレビで今すぐ見られる! お申し込みはカンタン お電話かWEBで!

0120-097-992

受付時間

10:00-20:00(年中無休)
おかけ間違いのないように。

24時間いつでも
申し込み可能

J SPORTS BS

検索

ご視聴には110度CS対応のBSアンテナが必要です。
J SPORTSはBS放送(スカパー!)でご覧いただける国内最大4チャンネルのスポーツテレビ局です。

スカパー!

個人情報の取り扱い規定につきましては、プライバシーポリシー(<http://www.skyperfectv.co.jp/privacypolicy/>)に記載しております。

LIST OF COMPETITORS

出場予定選手

JAPAN

氏名	ヨミガナ	所属	出場種目	種目別出場基準
武下 利一	タケシタ リイチ	トナミ運輸	MS	NT/MS
西本 拳太	ニシモト ケンタ	中央大学1年	MS	NT/MS
小林 優吾	コバヤシ ユウゴ	富岡高校3年	MS, MD	NJ/MS, MD
松本 康平	マツモト コウヘイ	埼玉栄高校3年	MS, MD, XD	NJ/MS, MD, XD
保木 卓朗	ホキ タクロー	富岡高校3年	MS, MD, XD	NJ/MS, MD, XD
小野寺 裕介	オノデラ ユウスケ	埼玉栄高校3年	MS	NJ/MS
古賀 穂	コガ ミノル	富岡高校2年	MS, MD	NJ/MS, MD*
井上 拓斗	イノウエ タクト	日本ユニシス	MD	NT/MD
金子 祐樹	カネコ ユウキ	日本ユニシス	MD	NT/MD
松居 圭一郎	マツイ ケイイチロウ	富岡高校3年	MD	NT/MD
三浦 光将	ミウラ コウシュン	東奥学園高校3年	MD	NT/MD
五十嵐 優	イガラシ ユウ	埼玉栄高校2年	MD, XD	NJ/MD, XD
下農 走	シモノ ハシル	東大阪大学柏原高校2年	MD, XD	NJ/MD, XD
馬場 湧生	ババ ユウセイ	九州国際大学付属高校3年	MD, XD	NJ/MD, XD
玉手 勝輝	タマテ カツキ	埼玉栄高校2年	MD	NJ/MD
常山 幹太	ツネヤマ カンタ	東大阪大学柏原高校2年	MD	NJ/MD
桐田 和樹	キリタ カズキ	柳井商工高校2年	MD	NJ/MD
渡邊 達哉	ワタナベ タツヤ	日本体育大学4年	MS	SP/MS
竹村 純	タケムラ ジュン	JR北海道	MS	NR/MS
池田 雄一	イケダ ユウイチ	日本ユニシス	MS	NR/MS
和田 周	ワダ シュウ	NTT東日本	MS	NR/MS
古財 和輝	コザイ カズテル	龍谷大学職員	MS	NR/MS
銭谷 翔	ゼニヤ ショウ	トナミ運輸	MS, MD	NR/MS, MD
小町谷 輝	コマチヤ ヒカル	東北マークス	MD	NR/MD
鈴木 大裕	スズキ ダイスケ	東北マークス	MD	NR/MD
黒瀬 尊敏	クロセ タカシ	和歌山県協会	MD	NR/MD
星野 翔平	ホシノ ショウヘイ	日本体育大学4年	MD	NB/MD
竹内 義憲	タケウチ ヨシノリ	日本体育大学4年	MD	NB/MD
海野 祐樹	ウミノ ユウキ	日立情報通信エンジニアリング	MD	NR/MD
山崎 裕太	ヤマサキ ユウタ	日立情報通信エンジニアリング	MD	NR/MD
権藤 公平	ゴンドウ コウヘイ	日本体育大学4年	MD	NR/MD
塚本 好喜	ツカモト ヨシキ	日本体育大学4年	MD	NR/MD
井谷 和弥	イタニ カズヤ	トリッキーバンダース	MD	NR/MD
高階 知也	タカシナ トモヤ	トリッキーバンダース	MD	NR/MD
山田 和司	ヤマダ カズシ	日本ユニシス	MD	NR/MD
数野 健太	カズノ ケンタ	日本ユニシス	MD	NR/MD
諸多 大輔	モロタ ダイスケ	東北マークス	XD	NR/XD

氏名	ヨミガナ	所属	出場種目	種目別出場基準
今別府 香里	イマベツプ カオリ	ヨネックス	WS	NT/WS
大堀 彩	オオホリ アヤ	富岡高校2年	WS	NT/WS
山口 茜	ヤマグチ アカネ	勝山高校1年	WS	NT/WS
星 千智	ホシ チサト	金沢向陽高校3年	WS, WD	NJ/WS, WD
櫻本 純子	サクラモト アヤコ	九州国際大学付属高校3年	WS, WD	NJ/WS, WD
仲井 由希乃	ナカイ ユキノ	日本橋女子館高校2年	WS, WD	NJ/WS, WD
中西 貴映	ナカニシ キエ	大宮東高校3年	WS, WD	NJ/WS, WD
加藤 美幸	カトウ ミユキ	倉敷中央高等学校3年	WS	NJ/WS
三木 佑里子	ミキ ユリコ	北都銀行	WD	NT/WD
米元 小春	ヨネモト コハル	北都銀行	WD	NT/WD
柳野 恵	タルノ メグミ	NTT東日本	WD	NT/WD
新玉 美郷	アラタマ ミサト	NTT東日本	WD	NT/WD
松田 蕾	マツダ アオイ	富山国際大学付属高校3年	WD, XD	NJ/WD, XD
柏原 みき	カシハラ ミキ	園田学園高校3年	WD, XD	NJ/WD, XD
永原 和可那	ナガハラ ワカナ	青森山田高校3年	WD, XD	NJ/WD, XD
東野 有紗	ヒガシノ アリサ	富岡高校2年	WD, XD	NJ/WD, XD
尾崎 沙織	オザキ サオリ	埼玉栄高校2年	WD, XD	NJ/WD, XD
清水 望	シミズ ノゾミ	大宮東高校2年	WD	NJ/WD
志田 千陽	シダ チハル	青森山田高校1年	WD	NJ/WD
楠瀬 由佳	クスノセ ユカ	北都銀行	WS	SP/WS
土井 杏奈	ドイ アンナ	ヨネックス	WS, WD	SP/WS, WD
鈴木 温子	スズキ ハルコ	ヨネックス	WS, WD	SP/WS, WD
後藤 愛	ゴトウ アイ	NTT東日本	WS	NR/WS
打田 しづか	ウチダ シヅカ	日本ユニシス	WS	NR/WS
峰 歩美	ミネ アユミ	ルネサス	WS	NR/WS
松尾 静香	マツオ シズカ	NTT東日本	WD	NBA/WD
渡邊 あかね	ワタナベ アカネ	NTT東日本	WD	NBA/WD
内藤 真実	ナイトウ マミ	ヨネックス	WD	SP/WD
宮内 唯	ミヤウチ ユイ	ルネサス	WD	SP/WD
久後 あずみ	クゴ アズミ	ルネサス	WD	SP/WD
今別府 諒代	イマベツプ ヤスヨ	ヨネックス	WD	SP/WD
小池 温子	コイケ アツコ	広島ガス	WD	SP/WD
桜井 みどり	サクライ ミドリ	広島ガス	WD	SP/WD
脇田 侑	ワキタ ユウ	岐阜トリッキーバンダース	WD	NR/WD
江藤 理恵	エトウ リエ	岐阜トリッキーバンダース	WD	NR/WD
田中 志穂	タナカ シホ	法政大学3年	WD	NR/WD
市丸 美里	イチマル ミリ	法政大学3年	WD	NR/WD
三好 奈緒	ミヨシ ナオ	北都銀行	WD	NR/WD
馬上 愛実	モウエ エミ	北都銀行	WD	NR/WD
今井 杏莉	イマイ アンリ	七十七銀行	WD, XD	NR/WD, XD
大森 舞	オオモリ マイ	七十七銀行	WD	NR/WD

国別エントリー状況数(2013年3月22日現在)

Country	C. code	MS	WS	MD	WD	XD	人数
チャイニーズタイペイ	CHN	5	4	5	6	6	26
インドネシア	INA	2	1	3	3	3	17
日本	JPN	13	14	14	16	6	78
韓国	KOR	4	4	1	1	2	12
マレーシア	MAS	12	6	7	5	4	34
モンゴル	MGL	1	0	0	0	0	1
ナイジェリア	NGR	0	1	0	0	0	1
ニュージーランド	NZL	1	1	0	0	1	2
フィリピン	PHI	0	0	1	0	0	2
シンガポール	SIN	2	0	0	0	0	2
タイ	THA	7	3	2	2	3	15
計		47	34	33	33	25	190

※日本代表選手の所属先は2013年4月1日現在のものです。

※[日本代表選手]の選考基準について

1. ナショナルチーム選手
2. ジュニア強化部推薦選手
3. 選手強化本部推薦選手
4. 協賛企業・推薦選手
5. 2012年2月10日付け日本ランキング16位までの選手

6. 略号解説

- NT: ナショナルチーム
- NJ: ジュニア強化部推薦
- NBA: 選手強化本部推薦
- SP: 協賛企業・推薦
- NR: 日本ランキング

CHINESE TAIPEI (26)

Surname/FirstName	カタカナ表記	漢字表記	出場種目
LIN Chia Hsuan	リン・チャーシュアン	林家翹	MS
CHU Han Chou	チュー・ハンチョウ	朱漢晝	MS
LAN Wei Hsain	ラン・ウェイサイ	藍偉翔	MS
YANG Chih Hsun	ヤン・チーシュン	楊智勛	MS, MD
HSU Shao Wen	スー・シャオウェン	徐紹文	MS, MD
WU Hsiao-Lin	ウー・シャオリン	巫孝霖	MD, XD
LIN Chia Yu	リン・チャーユ	林家佑	MD, XD
HUANG Po Yi	ファン・ボーイー	黃博暉	MD, XD
HUANG Chu-En	ファン・チューエン	黃主恩	MD, XD
TSENG Min Hao	ツェン・ミンハオ	曾敏豪	MD
LU Ching Yao	ル・チンヤオ	盧敬堯	MD, XD
HUANG Po Jui	ファン・ボージュイ	黃柏書	MD
LIAO Min Chun	リャオ・ミンチュン	廖敏竣	MD, XD
HSU Ya Ching	シュー・ヤーチン	許雅晴	WS, WD
PAI Yu Po	パイ・ユーポ	白飯珀	WS, WD
HUNG Shih Han	フン・シーハン	洪詩涵	WS
CHEN Hsiao Huan	チェン・シャオファン	陳曉歆	WS, WD, XD
WANG Pei Rong	ワン・ペイロン	王沛落	WD, XD
KUO Yu Wen	クオ・ユーウェン	郭浴雯	WD, XD
LIU Shu Chih	リュウ・シューチー	劉淑芝	WD, XD
LIN Tsun Yu	リン・ツンユ	林純紓	WD, XD
CHENG Wen Hsin	チェン・ウェンシン	程文欣	WD
HSIEH Pei Chen	シェー・ペイチェン	謝沛蓁	WD
TSAI Pei-Ling	ツァイ・ペイリン	蔡佩玲	WD
CHIANG Kai Hsin	チャン・カイシン	姜凱心	WD
LAI Chia Wen	ライ・チャーウェン	賴佳玟	WD, XD

INDONESIA (17)

Surname/FirstName	カタカナ表記	出場種目
DHARMA Alrie Guna	アルリー・グナ・ダルマ	MS
MARVIN Mainaky	マインキー・マーフィン	MS, XD
PUTRA Agripina Prima Rahmanto	アグリピナ・プリマ・ラマント・プトラ	MD
HADIANTO Hardi	ハーディ・ハディアント	MD
ADIARTAMA Arya Maulana	アリア・マウラナ・アディアルタマ	MD
PRASETYA Alfian Eko	アルフィアン・エコ・ブラセツヤ	MD, XD
RHOMA Putra Eka	プトラ・エカ・ローマ	MD
FAISAL Hafiz	ハフィス・ファイサル	MD
NUGROHO Lukhi Apri	ルキー・アプリー・ヌーグロホ	XD
MAINAKY Lyanny Alessandra	リアニー・アレクサンドラ・マイナキー	WS, XD
OKTAVIANI Melai Daeva	メライ・デファ・オクタフィアニ	WD
PUTRI SARI Rosyita Eka	ロシタ・エカ・プトリ・サリ	WD
GIOVANI Maretha Dea	メレサ・デア・ギョファニ	WD
IMMA MUTHIAH Khairunnisa	カイルニサイ・イムムティア	WD
AULIA Sheila Devi	シェラ・デヴィ・アウリア	WD
SRI Wulan Sari	ウラン・サリスリ	WD, XD
SAUFKA Annisa	アニサ・サウフィカ	XD

MONGOLIA (1)

Surname/FirstName	カタカナ表記	出場種目
MUNKHBAT Batdavaa	バツダツヴァー・ムンフバツ	MS

KOREA (12)

Surname/FirstName	カタカナ表記	漢字表記	出場種目
KIM Dong Hoon	キム・ドンフン	金東勳	MS
JANG Hyun Seok	ジャン・ヒョンソク	張弦碩	MS
JUNG Jae Wook	ジュン・ジェウク	鄭在旭	MS
KIM Min Ki	キム・ミンキ	金珉基	MS
HAN To Sung	ハン・トスン	韓土成	MD, XD
BAE Kwon Young	ベ・クワンヨン	裴權瑛	MD, XD
PARK So Young	パク・ソヨン	朴紹英	WS
LEE Jang Mi	イ・ジャンミ	李張美	WS
KIM Soo Jin	キム・スジン	金秀珍	WS
LEE Byeol Lim	イ・ビョルリム	李ビョルリム	WS
KIM Chan Mi	キム・チャンミ	金煥美	WD, XD
YANG Ran Sun	ヤン・ランスン	梁蘭善	WD, XD

MALAYSIA (34)

Surname/FirstName	カタカナ表記	出場種目
LOH Wei Sheng	ロー・ウェイシェン	MS, MD
AYUB Nur Mohd Azriyn	ヌル・モハド・アズリヤン・アユブ	MS
SOO Teck Zhi	スー・テックジ	MS, MD
SOONG Joo Ven	スーン・ジュウェン	MS
GOH Giap Chin	ゴー・ギャップチン	MS
AI Wei Jian	アイ・ウェイジャン	MS
TAN Kian Meng	タン・キアンメン	MS
CHONG Yee Han	チョン・イーハン	MS
CHEAM June Wei	チャム・ジュンウェイ	MS
YUSRIZAL Amirul Hakimi	アミルル・ハキミ・ユスリザル	MS
LIM Zhang Le	リム・ジャンレ	MS
HASHIM A Amar	アーマル・ハシム	MS, MD
LOW Juan Shen	ロー・ジュアンシェン	MD
TAN Yip Jiun	タン・イップジャン	MD, XD
YEW Hong Kheng	ヨー・ホンキョン	MD
GOH Jian Hao	ゴー・ジャンハオ	MD
TEO Kok Siang	ティオ・コックシヤン	MD
ONG Jian Guo	オン・ジャングオ	MD
WONG Guan Ming	ウォン・グワンミン	MD
SOO Kar Seong	スー・カーション	MD, XD
LEE Yan Sheng	リー・ヤンセン	MD, XD
LIN Woon Fui	リン・ウンフイ	MD
LIM Tiat Long	リム・ティアットロン	MD
WONG Fai Yin	ウォン・ファイイン	XD
LIM Yin Fun	リム・インフン	WS, WD
LIM Chiew Sien	リム・チュシェン	WS, WD
LIM Peiy Zhean	リム・ペイジャン	WS, WD
LIM Peiy Yee, Payee	リム・ペイイー・ペイー	WS, WD
TEOH Mei Xing	テオ・メイシン	WS, WD
TOO Shen Yee	トウ・シェンイー	WS, WD
LAI Shevon Jemie	シェヴォン・ジェミー・ライ	WD, XD
NG Marylen Poau Leng	ン・マリレン・ポア・レン	WD, XD
LEE Winnie	リー・ウィニー	WD, XD
YAP Harn Xin	ヤップ・ハーンシン	WD, XD

NIGERIA (1)

Surname/FirstName	カタカナ表記	出場種目
GABRIEL Grace	グレース・ガブリエル	WS

NEW ZEALAND (2)

Surname/FirstName	カタカナ表記	出場種目
MASINIPENI Shane Thomas	シェーン・トーマス・マシニペニ	MS, XD
MASINIPENI Maria Mata	マリア・マタ・マシニペニ	WS, XD

PHILIPPINES (2)

Surname/FirstName	カタカナ表記	出場種目
DELOS SANTOS Aries	アリーズ・デロス・サントス	MD
MORADA Alvin	アルヴィン・モラダ	MD

SINGAPORE (2)

Surname/FirstName	カタカナ表記	出場種目
GONANSA Robin	ロビン・ゴナンサ	MS
HUANG Chao	ファン・チャオ	MS

THAILAND (15)

Surname/FirstName	カタカナ表記	出場種目
PISIT Poodchalat	ブードチャラット・ピシット	MS, XD
CHAIROJKANJANA Kittipon	キティフォン・チャイロジカンジャナ	MS, MD
JUNPANOI Thanadol	タナドル・ジュンパノイ	MS, XD
THAMMASIN Sittikhom	シットヒコム・タンマシン	MS
THONGNUAM Pannawit	バンナウィット・トンヌアム	MS
PHETPRADAB Khosit	コーシット・フェツプラダブ	MS
SAETIAW Apisit	アピシット・サエティアウ	MS
POL-GUL Sutichon	スティチョン・ボルグル	MD
DECHAPOL Puavaranukroh	プアヴァラヌクロー・デチャボン	MD, XD
KITTINUPONG Ketien	ケトレン・キッティヌボン	MD
LAISUAN Ruethaichanok	ルサイチュアン・ライスアン	WS, WD, XD
HEMRACHATANUN Mattana	マッタナ・ヘムラチャタヌン	WS, WD
POOPRADUBSIL Thamolwan	タモルワン・プーブラドゥップシル	WS
SAPAJIRAKUL Puttita	プッティタ・サバジャクル	WD, XD
LAM Narissapat	ナリサバット・ラム	WD, XD

OFFICIALS

オフィシャル



大会役員 TOURNAMENT OFFICERS

大会会長	綿貫民輔			
大会名誉顧問	松井一郎 生野照子 町田勝彦			
大会副会長	三宅祐司 舛井勝人			
大会顧問	森 喜朗 村上忠治 植田博宣 青木昭二 吹田修一 濱中 誠 本郷節生 里見光徳 油井秀男 川島一郎 藤原和文 斉藤永吉 日野 貞 保坂和也 中嶋光司 杉山忠国 谷口 章 岡崎 彬 中村時広 里脇清隆 池田 徹 帰山好和	関谷勝嗣 塩川 甫 原二三雄 毛利清志 牧野 武 福岡幸一 今北基夫 山根 怜 木村 寛 板垣隆房 栗原 進 金森義弘 磯井貞夫 宮川忠和 上野 忠 澤 長壽 石田真敏 田村興造 西森潮三 冨田 浩 金城芳雄 藤田庸右	森田 一 橋本角市 清水規矩雄 内多小五郎 村山幸雄 伊豆 晃 菊地利明 佐藤芳朗 遠井稔男 星野忠男 中村 弘 吉田邦男 有瀬浩一 山田一六 末岡照章 田中田鶴子 加藤博司 松浦稔明 本田正寛 近藤 稔 秋草直之 小野 理	林 芳正 権田正一 平田登志郎 小宮淳宏 戸田清一 岡本武利 野村嘉明 竹林克彦 岡村英男 藤本 滋 菅原周一 手塚克彦 杉田 博 嵯峨 元 金森 正 瀬川欽也 成相安信 西野昌明 中尾昌由 相澤 潔 関場 武
大会参与	加藤寛治 真壁幹雄 秋岡澄子 四方光市	原 紀征 築地孝彦 松王清志 宮脇正晴	鈴木勝之 三井 裕 島津三彦 池田芳麻	藤原 航 浜中 勉 石橋三彦 片岡輝明
大会委員長	関根義雄			
大会副委員長	銭谷欽治			
大会委員	阿部秀夫 神戸 照 千葉健夫 野村安忠 浅岡 武 池田紗千子 立花良明 仲尾信一 金山在勇 百野郁子 田上敬子 田村淳子 谷田尚嗣 溝口光義 岡森 祐 林 和輝	今井茂満 木戸純一 中山紀子 村元英美 上原信彦 河合 茂 川上隆庸 月原 朗 廣瀬園子 竹田由美子 東條安彦 山本浩一 有田圭一 中留玉恵 土居 毅 山本卓也	河崎正紀 佐竹養一 西村健二 山田順一郎 福森勝治 宇治 収 武田文則 喜多 努 養父一太 村上徹嗣 小田耀子 竹内脩人 当山哲司 三國舞緒	河野幸男 高橋英夫 能登則男 福田 武 佐藤彰彦 大住陽一 西上正一 木村幸子 松村一三 大西富美昭 北野公男 大西正彦 生田健一 片山裕章

大会運営委員 TOURNAMENT COMMITTEES

運営委員長	関根義雄			
運営副委員長	銭谷欽治			
委員	今井茂満 高橋英夫	山田順一郎	阿部秀夫	能登則男
レフェリー	Yoon Kok Thean			
ディプティレフェリー	三王知治			
プレイヤーズセクレタリー	西 祐子	渡会菜々	阿由葉純代	立花直子
ライブスコア	関口淳也			
フロアドクター	高田 寿			

実行委員会競技役員 EVENT CONTROL in OSAKA

総括	銭谷欽治			
副総括	佐藤彰彦	福森勝治	廣瀬園子	清水義雄
総務担当	月原 朗 岡森 祐 山本浩之 土居 毅 大森滋人 河合 茂 河原 宏 梶谷恵美代 清水初音 和田登美子 山本久子 上岡百合子 岡本和子 武田あすか 望月玲衣	村井広美 武田文則 養父一太 谷田尚嗣 竹田由美子 林 和輝 赤井睦代 田淵正之 永谷美穂 西田百代 酒井素子 林美津代 田上一美 薫 朱里 谷川苑加	廣瀬園子 西上正一 喜多 努 有田圭一 東條安彦 片山裕章 溝口光義 須田美稚子 大島美都子 坂江和枝 原田佳恵 森 葉子 川内田和子 池田実優 加藤優果 寺田香里	清水義雄 仲尾信一 大住陽一 当山哲司 末藤かほる 池田紗千子 東 美地 西澤孝子 米谷啓子 能宗豊子 中井真由美 角本純子 前野敦子 石原優花 阪口祐紀 徳保琴美
救護担当	川那辺千恵美			
財務担当 (兼務)	福森勝治	廣瀬園子	月原 朗	
広報担当	浅見 勇 大西正彦	三角清一	佐藤純郎	宇治 収
競技担当	立花良明 中留玉恵 沼間由紀 田上敬子 川上隆庸 齊藤篤司 金山在勇 中留玉恵 河原吉伸 玉久保政己 山本 剛 須田祥充 林 栄子 渡辺明美 山田浩太郎 赤松直紀 片岡雅子 石本志子 豊田美津子 石川亮子 藤原かつみ 成瀬慶子 岡田美津子 濱野美砂子 滝 文子 坂下伊佐子 高見美紀 春山良枝 馬面弓子 堤 一彦 永井 泉 正岡 毅 寺坂庄二 伊藤智則 徳富信明	木村幸子 山本 卓 植田玲子 小田耀子 北野公男 上野 誠 松村一三 村上徹嗣 小林幹男 進藤恭輔 伊藤義次 高田真一郎 小倉美枝子 山田敏郎 木下貴嗣 木村圭造 中村祐子 平岡美晴 南里由美子 高島久美 森山直子 森本恵美 山下智子 山形江利子 西本みゆき 辻野郁子 井脇和子 辻村美樹 森田永枝 福田美絵 楠本直樹 今林秀和 折谷博幸 山本卓也 藤本孝士	生田健一 中村智世 荒本政美 百野郁子 岩下真志郎 田村淳子 西川 浩 丸草智明 北原 茂 糸川公久 田上典生 米倉恵里 木村好徳 吉村敏雄 笹淵祥匡 栢野智子 籠真澄 村井順子 西脇香奈 向井恭子 増山康子 植田百合 沢井具子 佐藤 泉 才野郁子 吉富久代 藤本祐子 小澤夏子 天野 治 横井栄子 市来幸二 竹内脩人 徳永克也	三國舞緒 中国由紀 和田雅子 大西富美昭 広瀬 統 土井誠子 福島邦夫 梅咲晴代 板倉恵子 生賀智恵子 磯部光三 小高由佳 藤原恵一 鹿島昌代 段上由美子 中村陽子 大森真樹 真鍋稔乃 松井宏子 久保多美子 中村通世 平田陽子 岡田和子 松村幸世 宮本聖子 高田有佑 三坂裕士 桐原早苗 平井宏典 片岡憲一 木戸俊治

大会プログラム/ポスター
企画・デザイン (有) ビーファクトリー

サインをください!

Please give your autograph!



ARCSABER 11

NEW アークセイバー11 / ¥25,200(本体価格¥24,000) / 日本製

「ネオCSカーボンナノチューブ」がくわえ込み、
「ソニックメタル」で鋭く弾く。
ピンポイントで狙うカウンターレシーブ

インドネシアの英雄「タウフィック・ヒダヤット」彼のバックハンドから繰り出される多彩なレシーブは、マシンのように正確で相手を翻弄する。その天才プレーヤーとヨネックスの16年の集大成が、ラケットになった。粘り強さを増した「ネオCSカーボンナノチューブ」を内側に、剛性の高い「ソニックメタル」をフレーム外側に装着。シャトルをしっかりくわえ込み、反発性能をさらに向上させている。ジョイント部には新素材「T-アンカー」を採用し、ねじれを抑え、コントロールの精度を上げた。「アークセイバー11」レシーブを自在に操り、ゲームを支配したいプレーヤーへ。

狙えるカウンターレシーブ

30 Km/h 速くなる
超スピードスウィング

新軽量

F

*ナノメトリックは、東レ(株)のナノアロイ®テクノロジーを応用した新素材です。



ARCSABER
特設WEBサイト
公開中!!
www.yonex.co.jp



facebook.com/YONEXBadmintonJapan

YONEX史上最軽量「F」サイズモデル。

新素材「ナノメトリック」が、かつてないハイスピードスウィングを実現。

ナノサイエンス新素材「ナノメトリック」が強さを引き出し、シャフトの体積を大きく減少。5Uを超え、常識を超える新重量規格「F」を創り出し、ヨネックス史上最軽量平均73gのラケット「アークセイバーFB」を誕生させた。約30km/hも速くなるハイスピードスウィングから、ミスの少ない多彩なラケットワークでレシーブする。どんなショットにも素早く反応し、チャンスを逃さず一歩前で叩く。「軽い」だけではない「速さ」も兼ね備え、アークセイバーは未知の次元へとワープした。

※ヨネックス(株)調べ/中上級者のスウィングスピードを測定/従来ラケット: 200km/h、ARC-FB: 230km/h

ARCSABER FB

NEW アークセイバー FB / ¥24,150(本体価格¥23,000) / 日本製

